ライオン誌11月号 2005年（平成17年）10月20日発行
昭和33年12月19日付第3種郵便物認可
毎月1回20日発行第48巻第5号

IN JAPAN
Official publication
of Lions Clubs
International

November 2005

11

THEME 仙台フォーラム

PICK UP 新世紀ライオンズクラブ

ROAR 333複合地区

第48巻第5号

CONTENTS

■国際会長公式訪問 4

■THEME 6
●仙台フォーラム
10月7～10日、宮城県仙台市で開催された第44回OSEALフォーラム。エリア内のライオンズと家族約12,000人が集結し、会員参加型のミニ･フォーラムや市民を交えたシンポジウムなど、これまでにない革新的なフォーラムとなった。

■国際理事会だより 11
●栢森新治

■PICK UP ●新世紀ライオンズ 12
332複合地区（東北地方）にある3つの新世紀ライオンズクラブ会長による鼎談。

■ライオンズ･ニュース･カセット 16
●334-A地区でCSFⅡ親善チャリティー･ゴルフコンペ
●2005年国際大会開催地はボストンに変更
●メータ国際会長の緊急メッセージ
●パキスタン大地震に対する日本ライオンズの支援
●ライオンズ･アイバンク週間
●2004年度末レオ･ライオネス統計
BOX COLUMN
●会議録
●日本ライオンズ連絡事務所決算公告
●ライオン誌日本語版事務所決算公告

●日本ライオンズクラブ　クラブ数･会員数集計 21

■クラブ･リポート ●イラスト:篠田和夫 22
岡山県真庭旭　小学生、富士山登頂に挑む
北海道釧路みなと　車いすマラソン大会開催
千葉県銚子　中間法人設立でライオンズ会館取得
兵庫県三木　納涼花火例会に市民ら参加
東京城北　温暖化防止に「打ち水大作戦」
岐阜県各務原飛鳥　危険な戦時中の地下壕を封鎖
東京、東京日比谷、東京馬場先門　地雷除去活動に支援金贈呈
福島信夫　万博招待の児童から感謝の手紙
東京晴海　故迫水国際理事がくれた本

表紙メモ

日本の風景
群馬県笠懸

写真：編集部

デザイン：内田誠治

■ROAR～まるごと333複合地区 27
■ヘッドライン ●茨城県常陸小川 28
■トピックス ●新潟県与板 30
●栃木県足利西 31
●茨城県日立ブーケ 32
●千葉県松戸みどり 33
●千葉県浦安中央 34
●群馬県太田 35
■ふるさと探訪 340 ●千葉県松戸 36
江戸川を挟んで東京都と埼玉県に隣接する松戸市は、古くは水戸街道の宿場町として栄えた。現在は東京のベッドタウンとして都市化が進んでいるが、それでもなお、有名な矢切の渡しを始め、のどかな風情を残している。昔から夏の季語として定着してきた白玉粉の日本一の産地であり、二十世紀梨が生まれ、育てられた地としても知られている。

●イラストマップ:小川和政
■歴史の舞台 4 ●新潟県出雲崎 ●切画:風祭竜二 40
■表紙シリーズ：日本の風景 22 ●群馬県笠懸 42

■執行役員メッセージ 43
■LCIF Report 330-B、C地区 44
■もっと知ろう！ ライオンズ CSFⅡ 46
■獅子吼 ●イラスト:小川和政 48
パスポート　高田昌夫
献眼日本一の町を訪ねて　齊藤祥治
もう一つの特攻「義烈空挺隊」　名越かず代
すがすがしい思いの労力奉仕　正木猛司
■俳壇 ●選:森澄雄 53
■歌壇 ●選:春日真木子 54
■柳壇 ●選:大木俊秀 55
■READERS PLAZA 56
■クロスワードパズル 58
■グラスいっぱいの幸せ 5 59
●文:植村力子 ●イラスト:吉田悦子
■こころのチキンスープ･ライオンズ編 60
●構成:青山研 ●イラスト:吉田悦子
■MY BEST SHOT ●選:河相正名 62
■LIONS GALLERY ●増田都司夫 63
■Editor's Room ●読者プレゼント ●次号予告 65
■編集室 66
●佐々木智英

アショク・メータ国際会長日本公式訪問

熱く、力強く語った「飛躍への情熱」

アショク・メータ国際会長とコキラ夫人は九月二十九日に来日。三十日神奈川県・横浜（330・333複合地区）、十月二日長崎（336・337複合地区）、三日愛知県・名古屋（334・335複合地区）、五日北海道・小樽（331・332複合地区）の四カ所を公式訪問した。各会場で行われたメータ会長スピーチは、原稿を一切用意せず、あふれる情熱をそのまま言葉に乗せたような迫力があった。出席者は「飛躍への情熱」に込めたメータ会長の熱い思いを、肌で感じ取ったに違いない。四会場での国際会長のスピーチから、主な内容をここに収録する。

■会員増強について——

「今年七月からの三カ月間で、日本は八百人の会員増加を成し遂げました。これはたいへん良い兆候です。どうかこの後も努力を続けてください。私のテーマでもある『飛躍への情熱』があれば、今年度の終わりには目標を達成出来るはずです。日本はかつて世界第二位の会員数を有していましたが、残念ながら現在は第三位に退いています。過去五年間に、日本では会員が二万人減少しています。その原因には、会員の高齢化が進んだことがあります。これは日本に限ったことではありません。アメリカでは毎年三万人の会員が減少しています。解決策は何でしょう。その一つが、もっと若い人たちを協会に招き入れることです。そのためには、例えばレオクラブ会員や、青少年関連アクティビティへの参加者など、若い人たちをライオンズクラブの活動に巻き込んで、入会して頂くことが必要でしょう。もう一つの解決策が、女性会員の招請です。一九

八七年に女性会員の入会が認められました。それ以来、世界中で二十二万人がライオンズクラブに入会しました。協会において女性の果たす役割の重要性は明らかです。我々が切望していることは、より多くの女性に協会に加わってもらうことです。現在、ライオンズクラブにおける女性の割合は一七☒ですが、いずれ五〇☒になる日が来ることでしょう。若い世代と女性を対象にした会員増強に全力を注ぐことで、今、日本やアメリカが直面している問題は解決出来るはずです」

■リーダーについて――

「日本ライオンズはまさに国際協会のリーダーでありますが、私はそれを更に形の上で明確にすることを望んでいます。すなわち、国際会長の誕生です。日本はかつて村上薫国際会長、小川清司第一副会長という素晴らしいリーダーを輩出しました。皆さんご承知の通り、お二人は国際協会の中でも傑出したリーダーでありました。ライオン村上が第三副会長に選出された時、英語はそれほどお上手ではありませんでした。しかしその後、国際会長に就任されるまでに、英語を流ちょうに操られるようになりました。どの言語を習得するのも、意志の問題です。英語は私の母国語ではありません。皆さん日本人にとっても英語は母国語ではありません。しかし英語を理解し、話せるよう努力することは可能です。（国際的リーダーを擁立することに関して）皆さんが抱える問題は、言語が解決してくれるはずです。日本ライオンズが一つとなって、私たちの国際協会のために新しいリーダーを誕生させてください」

■CSFⅡについて――

「LCIFに対して日本ライオンズは多大な貢献をしてくださっています。インド・グジャラート地震の時にも、大きな支援を頂きました。この場を借りてお礼を申し上げます。一九九一年に始まったCSFIにおいて、日本は世界をリードする貢献を果たしました。視力ファーストIの成功を受けて、我々は今、CSFⅡを展開しています。そして今また、日本の協力が必要とされています。ライオンズは、国際的な視野と地域レベルでの視野を持っています。この国では失明は大きな問題ではないでしょう。しかしアジアやアフリカの国々へ行けば、多くの失明者に出会うことでしょう。皆さんの貢献によって、何百万ものそうした人々を救うことが出来るのです。キャンペーンの成功は、皆さん一人ひとりの力にかかっているのです。二〇〇八年の国際大会では、総額二億☒という挑戦的目標額の達成を祝うことになるでしょう」

2）

3）

●アショク・メータ国際会長日本公式訪問日程

9月30日　330・333複合地区公式訪問（横浜ロイヤルパークホテル）＝❶

10月1日　合同記者会見

10月2日　長崎原爆資料館見学
336・337複合地区公式訪問（ホテルニュー長崎）＝❷

10月3日　名古屋市長訪問
334・335複合地区公式訪問（ウェスティン名古屋キャッスル）＝❸

10月5日　331・332複合地区公式訪問（ヒルトン小樽）＝❹

第44回 東洋・東南アジア・ライオンズ・フォーラム

十月七日〜十日、第四十四回東洋・東南アジア・ライオンズ（OSEAL）フォーラムの舞台となったのは、杜の都仙台。日本では七回目、東北では初めての開催となった。参加総数一万二千六百二十三人、うち日本の参加者が一万二百八十九人を占めた。

今回のフォーラムでは開催を三連休に合わせ、日本の参加者にとっては参加しやすい日程が組まれた。フォーラム参加と共に、紅葉シーズンを迎えた蔵王や栗駒高原、そして仙台周辺の温泉地を旅程に加え、秋の東北を満喫した参加者も多かったようだ。海外からの参加者からは、これまで訪ねることのなかった地方都市を訪問するよい機会となった、との声が聞かれた。

八日午後、開会式会場のグランディ21では、賑々しい祭りムードが全国、そしてOSEALエリア各国から集まった会員たちを迎えた。会場の外にはフード・プラザが設けられ、四基の神輿が威勢良く練り歩いて、国内外の参加者を楽しませた。また会場内では国際文化ショーが開かれ、山形の花笠踊りや秋田のなまはげ太鼓などが披露された。

❶八日開会式であいさつする菊地伸治FOC委員長
❷伏見龍国際理事による祈祷
❸国際会長のプロフィールを紹介する山田實紘国際理事
❹高橋義太郎332複合地区ガバナー協議会議長のあいさつ
開会式ではまた、記念アクティビティとしてタイとスリランカにそれぞれ百万円、ハリケーン・カトリーナ被災地への支援金百万円が寄贈された

開会式ではまず、菊地伸治仙台フォーラム組織委員会（FOC）委員長が、第一回国際大会が開かれた記念すべき日である十月八日に開会式が開かれることの喜びを込めて、開会を宣言。浅野史郎宮城県知事、梅原克彦仙台市長も駆けつけて歓迎の言葉を述べた。

会場となったグランディ21の収容人数は約八千人で、地元332複合地区の会員にはモニターを設置した別会場が用意されていたが、それでも式典開始の午後二時半には会場はいっぱいに埋まり、席が足りなくなるほどの盛況ぶりだった。

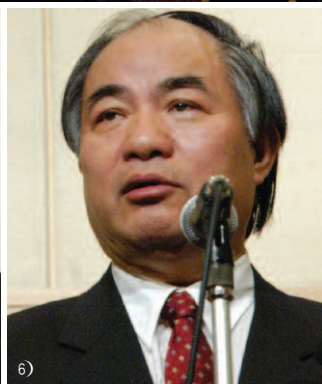
しかし、アショク・メータ国際会長がスピーチを終えるころには、半数以上が空席になっていた。開会式の締めくくりには「すずめ踊り」のアトラクションが用意されたが、閑散とした客席ではお囃子の音も寂しく響いた。

残念なことだが、OSEALフォーラム開会式でのこうした光景は毎年のように見られる。だが今回、登

❶八日、仙台国際センターで開かれたジャパン・レセプションでは、アショク・メータ国際会長、ジミー・ロス第一副会長ら協会のリーダーが鳴本国際理事候補を力強く激励した
❷ジャパン・レセプションであいさつする高田一男八複合地区議長連絡会議世話人

期間中はさまざまな会議が開かれた。上から第2回ステアリング委員会、コーカス、協議会議長と地区ガバナーの会議、国際会長と地区ガバナーの会議、第1副会長と副地区ガバナーの会議

録者の八割強が日本の会員だったことを考えると、参加意識の低さを疑われても仕方ない事態である。一方で、延々と続く冗長なセレモニーが参加者を退屈させたことも事実だろう。そうした問題点は翌朝の第二回協議会議長と地区ガバナーの会議でも指摘され、今後のフォーラムに向けて、参加者が楽しめ、意義を感じられる催しになるよう改善してゆくべきだという意見が出されていた。

組織委員会が今回のフォーラム開催にあたり標榜したのが、物見遊山型から参加型フォーラムへの転換である。開会式は前述のような状況だったが、九日に開かれた公開シンポジウムや各種セミナーには、変化の兆しも見られた。国際支援のあり方を考えるシンポジウムでは、国連開発計画（UNDP）駐日代表の弓削昭子氏による基調講演と、梅原克彦仙台市長、ハバナンダ元国際会長らが加わってのパネル・ディスカッションが行われ、一般市民を含む約七百人が耳を傾けた。またLCIF（CSFⅡ）セミナーへの関心は特に高く、約三百人が参加した。このほか、フォーラム協賛企画の五つのミニ・フォーラムでも、活発な議論の場がもたれた。会場となった仙台

❸「わたしたちはどう助けあうのか―国際協力の観点から」と題した弓削氏の基調講演　❹シンポジウム終了後、スマトラ沖地震被災者への支援を呼び掛けながら、ライオンズとアジア各国からの留学生ら約二百人が市内中心街をパレード　❺協賛企画として開催されたシニアライオンズ・フォーラムで基調講演を行う石橋幹雄国際理事　❻十日閉会式で抱負を述べる二〇〇六～〇八年国際理事候補者、台湾のペ・ジェン・チェン元地区ガバナー、❼日本の鳴本聡和元協議会議長、❽韓国のシュン・ギュン・チョイ元地区ガバナー　❾次回OSEALフォーラムのホスト国マレーシアによるプレゼンテーション

国際センターは、例年のセミナー会場ではあまり見られない活気が感じられた。この点では組織委員会の目論見通り、画期的なフォーラムだったと言えるのではないだろうか。

十日九時半から本部のホテル仙台プラザで開かれた閉会式では、組織委員会の予想を上回る参加があり、会場に入りきらないほどだった。メータ国際会長はあいさつの中で、フォーラム期間中の八日にパキスタン北部で発生した大地震による被害状況と救援活動に触れ、被災者のために支援の手を差し伸べようと呼び掛けた。閉会式ではその後、決議委員会の報告を受けて、二〇〇六～〇八年国際理事候補者として、300複合地区（台湾）のペ・ジェン・チェン元地区ガバナー、336複合地区（日本）の鳴本聡和元協議会議長、354複合地区のシュン・ギュン・チョイ元地区ガバナーの三人を推薦する決議など十八項目を採択。最後に、菊地FOC委員長から次回マレーシアのジェフリー・カーFOC委員長へ、OSEALフォーラムの旗とゴングが手渡されて幕を閉じた。

次回、第四十五回OSEALフォーラムは、マレーシア・ペナンで十一月三日～六日に開催される。

第四十四回OSEALフォーラムに先駆けて、十月三日から上位ライオンズ・リーダーシップ研究会が、同四日からMERLセミナーが、仙台市で開催された。

上位リーダーシップ研究会はゾーン、リジョン、地区の役職を担うために必要なリーダーシップを身に付けることに焦点を当てている。候補者はクラブ会長としてグッド・スタンディングの成績を収めている、あるいは以前にそうだった会員で、まだ副地区ガバナーの地位に達していない者でなければならない。が、日本の場合、実際には副地区ガバナーの参加も多く、今回も三十三人のうち十四人が副地区ガバナーだった。

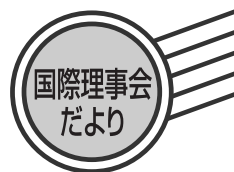
一方のMERLセミナーは複合地区の会員、エクステンション、リテンション、そしてリーダーシップの各委員長に対するトレーニング。原則的には三年任期の委員長が、任期の最初にトレーニングに参加出来るよう設定されている。

今年の上位リーダーシップ研究会は後藤隆一（333-C）、林孝（334-A）、高岸和男（334-D）の各元地区ガバナーが、MERLは林護（333-C）、内田清一（335-C）、尾池希雄（337-D）の各前地区ガバナーが講師を務めた。スタイルは「上位」の場合、ゲーム感覚のグループワークやブレーンストーミングなども交え、講師も一緒に勉強しながら研究していく、いわば体験型学習。それに比べると「MERL」はディスカッションが中心で、講師からの問題提起に対してグループごとに討議し、それを発表していくという方式が繰り返される。具体的な役職を対象にしているため、かなり実践的な研修だ。

上位リーダーシップ研究会（10月3～7日／江陽グランドホテル）

MERLセミナー（10月4～7日／仙台ホテル）

また、研修会では、ジミー・ロス国際第一副会長が重要視するメンタリングや、コミュニケーション、紛争の解決、プレゼンテーションなど、基本的なことも学べ、リーダーとして必要な技法が網羅されている。ただ、いずれも参加者からは翻訳の関係でテキストが分かりにくい、あるいは日本人に合わないといった指摘が多く、今後、テキストの内容や事例については検討する必要がありそうだ。

国際理事会だより

■国際理事会アポインティー
栢森新治
（愛知県・名古屋ウエスト）

アポインティーとして勉強の1年間がスタート

第八十八回香港国際大会に代議員として出席。我が334・A地区のパレードにも参加し、大いに気勢を上げ大会気分を盛り上げ楽しもうと思っていた六月二十八日の夕方。突然アショク・メータ次期国際会長に呼び出され、次期国際理事会アポインティーにとの要請がありました。戸惑いながらも、たいへん名誉なことだと思い、その場で承諾致しました。

国際理事会アポインティーは、国際会長によって任命され、会長に合わせて任期は一年。私はLCIF執行委員会と奉仕事業委員会に所属することになりました。

第一回のLCIF執行委員会は、理事会会場の片隅で開催され、今回の議題は委員長の選任のみ。全員一致でクジアク前国際会長が選任され、所要時間は十分ほどでした。

第一回奉仕事業委員会は、別室で開催されました。まず、五人の委員の中からアメリカのメイナード・ラックス委員が委員長に選任された後、国際本部の担当マネージャーが参加し、報告と協議が行われました。いくつかピックアップして報告致します。

☒SODIS水消毒プログラム

SODIS（スイス、ドイツ、オーストリア、ルクセンブルグのライオンズの共同体）は、発展途上国など、飲料水媒介の病気発生率が高い地域での水消毒プロジェクトに向けて、二百万ユーロの資金調達に取り組むこととなりました。SODISは最近、国連から地球エネルギー賞を受賞しています。

またSODISは、香港国際大会で展示ブースを開設しました。奉仕事業委員会では、地域フォーラムにおいてもSODISについてライオンズに知らしめることは有意義であると考えています。それによりこの事業への支援を奨励出来るからです。メータ国際会長は、ヨーロッパ連合を通じて更なる資金調達の機会があることを示しました。また、ロス第一副会長は、二〇〇六年の地区ガバナー・エレクト・セミナーで、SODISプログラムを重要課題とすることを表明されました。

☒AMD国際連盟

ライオンズクラブ国際協会とAMD（加齢黄斑変性症）国際連盟との共同提携について検討しました。一九九九年、国際理事会はライオンズが同連盟の準メンバーとなることを承認しています。連盟は二十カ国に五十一のメンバー組織を有し、三つの地域組織に分かれています（アフリカ・ヨーロッパ・中東地区、アジア・太平洋地区、南北アメリカ地区）。先進国における失明の主原因となっているAMDの認識向上と治療、研究を推進している同連盟との提携は、ライオンズが、AMDによって失明した人々や家族を援助するための重要な手段です。よって私たちは、提携の継続を提言します。

☒レオ・ライオン共同作業

奉仕活動や他の相互活動への参加・出席を通して、ライオンズとレオクラブとの協力の証として、バナー・パッチを授与することを提言しました。レオがライオンズとの絆を深め、将来ライオンズクラブの一員になることを考えさせることにつなげます。

今回、またとない素晴らしい機会を与えてくれたライオンズクラブに感謝します。国際協会の幅広い活動に接し、世界に目を向けた素晴らしい奉仕団体であることを再認識すると共に、一年間大いに勉強させて頂き、自らの成長に結びつけたいと思っています。

皆さまのご指導ご支援及びご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

pick up
ピックアップ

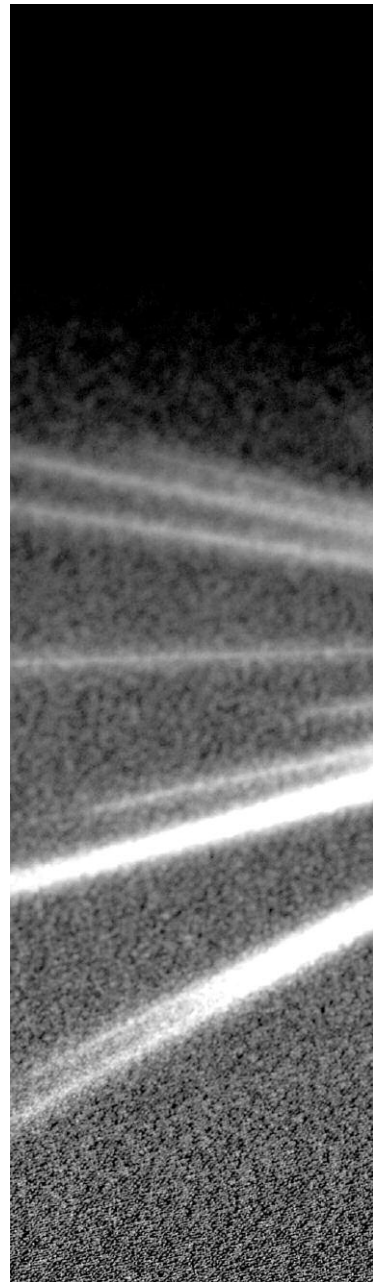
本音で話し合う、新世紀ライオンズクラブの今、未来。

■鼎談出席者
洪八満（山形県・酒田シーサイド・ニューセンチュリー・ライオンズクラブ会長）
伊藤光安（山形県・新庄ニューセンチュリー・ライオンズクラブ会長）
小松清志（秋田ニューセンチュリー・ライオンズクラブ会長）

二十一世を担っていく青年を対象に二〇〇一年に提唱されたライオンズクラブの新フォーマット「新世紀ライオンズクラブ」。二〇〇五年九月末時点で国内に七クラブ。そのうち三つが、332複合地区に集中しており、結成から三～四年目を迎えている。今回はその三クラブの会長にお集まり頂き、新世紀ライオンズクラブの実態、課題、そして夢について本音で語り合って頂いた。

顔を合わせないと例会じゃない

――皆さんお集まり頂きありがとうございます。この機会に、新世紀ライオンズクラブとして共通の課題、悩みなどを話し合って頂けたらと思います。まず、皆さんのクラブの状況についてお聞かせください。

伊藤　エクステンションの一貫として出来た新クラブに何も分からな

いまま入会し三年経ちましたが、私を含め三十人いたチャーター・メンバーは、今や二十一人です。

小松　うちは結成四年目を迎えますが、実は昨年度末に「もうクラブをやめてしまおう」という話も出たほど現在の状態は深刻です。二十一人いたメンバーも今や十四人。そんな時に会長の大役を受けました。

洪　私の所もチャーター時は二十八人いましたが、今は十八人です。どこも会員維持は厳しいですね。

伊藤　メンバーの大半が、雇われている人なので時間の融通が利きません。結局、例会に出たくても遅れざるを得ない、あるいは休まざるを得ないというケースが多くなります。そのうちだんだん参加しにくくなっていくようですね。

洪　年齢的にも働き盛りですしね。新世紀ライオンズクラブでは、ＩＴ例会が認められていますが、これについてはどう思いますか。うちもやってはいるのですが、実際は稼働していない状態です。

伊藤　基本的に、例会開催のお知らせはメールで流すのですが、いろいろ問題があります。パソコンを持っていない会員には携帯電話にメールを送信しますが、添付ファイルや長い文章は送れません。また、プライベートなパソコンだと、どうしても夜中にしか開かないということもあって、連絡事項に遅れが生じることがあります。ＩＴ例会を行うにはインフラの部分で不完全です。

小松　ＩＴ例会は忘れられることが多いですね。気が付くと過ぎてしまっていることも。ですから今年から、ネット上の掲示板に書き込みがされた時点で会員へメールが転送されるようにしました。それだけでレスポンスが随分活発になりました。今年は、何とかしようという会員の意識の高まりもあるのでしょう。

洪　私は個人的にＩＴ例会は必要ないと思っています。やはり顔を突き合わせて話さないと例会とは言えないのではないでしょうか。例えば、ＩＴ例会の代わりに、昼間例会を行うとか、曜日を変えてみるとか。どうしても時間的に参加出来ない会員や、参加したいけれど時間的に来れない会員たちと会う機会を増やした方が絶対いいと思います。

新世紀ライオンズクラブらしさとは

――会員増強はどんなことをされていますか。

伊藤　同級生や先輩、後輩など近い所に声を掛けています。まずは、オブザーバー的に例会に参加してもらって、その後の酒の席で口説きます。まずは仲良くやっていこう、という所から始めますね。

小松　勧誘しようにも自分たちの間でまだ満足な活動が出来ていないので、誘いにくいという面があります。今年度は、まずは自分たちの中で納得のいくクラブにしようとメンバー間で意思の確認を行いました。

洪　小松さんの所と同様、現在まともにアクティビティが出来ていない状態なので、「何をしている集団なの」と人に聞かれると言葉に窮してしまいます。親クラブも含めてライオンズ全体で何をしているかを話せば、説明出来ないことはないのですが、いざ自分たちが何をしているかと聞かれると、それこそ集まって酒を飲んでいる人たちでしかない。こういう時は、親クラブの存在が頼もしく思えます。

伊藤　三年目にしてようやく会員の気持ちが一つにまとまってきたように思います。つまり、よほどのことがない限りやめない会員だけが残りました。アクティビティにしても新世紀ライオンズクラブらしさを出していくのは、これからなのではないでしょうか。

洪　らしさと言えば、新世紀ライオンズクラブには三十五歳までという入会年齢制限がありますが、これを撤廃してほしいと思ったことあり

ませんか。

伊藤　せめて三十七歳とか四十歳までにして頂けると助かります。自分たちの年齢も上がってきていますので、同級生や先輩を勧誘するにしても年々難しくなっています。

小松　でも結成七年後には、その年齢制限がなくなり、「新世紀」という言葉もとれて、レギュラークラブと同じ扱いになるわけですよね。

洪　更に年月が経つとゾーンやリジョン、キャビネットでの役割も増えていくことでしょうし、チェアパーソンを輩出することにもなるでしょう。責任感が重くのしかかってくることが予想されます。

アクティビティはしたいけれど

洪　レギュラークラブと同じ扱いになると、問題になってくるのが、会費などの支出面です。皆さん会費はおいくらですか。私の所は会費が一万円で、入会金は四千円です。

小松　会費は月割り三千円の年間三万六千円。入会金は二万円です。

伊藤　会費は小松さんの所と同じ年間三万六千円で、入会金は五千円です。入会金を安めに設定しておかないと、入ってもらえないのでこの金額にしています。

洪　いずれにしてもレギュラークラブに比べると会費は安く抑えているわけですから、国際会費や地区費など決まった金額が毎月出ていくと、事業費に回せるお金はほとんど残らないというのが実情です。

伊藤　かと言って会費を引き上げるとただでさえ大変な勧誘が、更に難しくなります。新世紀ライオンズクラブであるうちは、少しでも優遇されると助かります。

小松　他クラブから周年行事等へ参加するようお願いがありますが、昨年からうちのクラブはそういった行事には一切出席しないようにしました。一人一回出るだけでも八千円から一万円は消えていきますから。数回出席すると財政的に非常に厳しく、アクティビティにも影響します。

伊藤　何かしなくてはいけないという使命感は常にあり、やる気のあるメンバーからはアクティビティのアイデアは出てくるのですが、それを実現させるためのお金がない。

洪　アクティビティはしたいけれど、お金や時間の制約で八方ふさがりの状態。このままではただの酒飲みサークルで終わってしまいます。

小松　結局、お金の掛らない清掃奉仕といった労力アクティビティに限られてしまいます。資金獲得のために、フリーマーケットをしようという話もありますが、そんな身を削るようなことをいつまでも続けるわけにはいきませんし。

伊藤　まだまだクラブに知名度がないので、親クラブのように他の団体から声が掛かりません。依頼は、私たちの所へではなく直接親クラブへ、という形になっていますね。

良くも悪しくもライオンズかくあるべし

洪　本来、新世紀ライオンズクラブは、柔軟な発想に基づいた活動が認められているのにもかかわらず、実際はライオンズという名前だったり、時間的・金額的な問題だったり、柔軟とはほど遠い状態にあると思います。

伊藤　何かをするにしてもライオンズである以上、あまりハメも外せませんし、やっていいものかという判断を迫られることは常にあります。

小松　結局、親クラブにも相談しないまま、自分たちの中でブレーキをかけて終わってしまう。

洪　本当はそのクラブの裁量なんでしょうけれどね。イメージにとらわれてしまう。「ライオンズかくあるべし」みたいな。

伊藤　いつのまにか「子ライオン」になっています。

洪　知らない人が見れば、親クラブの中に私たち新世紀ライオンズクラブがあって、手厚く保護されているように映るでしょう。新世紀ライオンズクラブだから出来るというものは、残念ながら今の時点ではないですね。

秋田N.C.L.C.
小松清志会長

酒田シーサイドN.C.L.C.
洪八満会長

伊藤　そこを模索中なんですよね。

小松　先ほど伊藤さんもおっしゃっていましたが、まず知名度を上げることが先決だと思います。何かやるにしても他のクラブ・団体がやっていないインパクトのあることをしたいですね。今年は新聞に取り上げてもらうよう意識して動いています。

洪　昨年、七夕の時期に仙台に遊びに行ったのですが、地元のライオンズのメンバーが、何かをぶら下げて通りに立っているんです。何をしているのかなと思って近づいてみると「シャッター押します」と書いてありました。観光客の多い時期ですから、ああこんなアクティビティもあるんだなと思いました。街作りにも貢献している面白いアクティビティだと思いました。

小松　それいいですね。真似してみようかな。

洪　「やられた」と、思いました。お金もそれほど掛からないですし、結構利用する人もいるんですよ。

伊藤　ライオンズらしい活動ですね。一人でやってもまず信用されないでしょうし、「ライオンズ」という安心感がその活動を成り立たせているんだと思います。ライオンズという名前があるから出来るということはたくさんあると思うので、利用出来ることは利用させて頂こうと思います。

新庄N.C.L.C.
伊藤光安会長

小松　ライオンズに入ってから気が付いたんですが、いろいろなものが街に寄贈されていますよね。ですが、新世紀ライオンズクラブは必ずしもそういうもので奉仕をする必要はないと思います。

伊藤　形になるもので、と考えるとどうしても大がかりになってしまい手が出せなくなってしまいます。

洪　私たちは物品奉仕の方向に行かなくてもいいと思います。今は小さなことからやれることを探して精いっぱいやるだけですから。

洪　何か暗い話ばかりになってしまいました。

伊藤　では明るい話を。うちの親クラブの若い会員の方が、「年齢制限がなくなるのなら新世紀ライオンズクラブに移ろうかな、そっちの方が面白そうだから」と冗談でお話しされていたのですが、クラブに活気があれば、そんなこともあり得るのではないでしょうか。

小松　確かに通常のクラブと比較すると、メンバー同士の年齢が近いですし、アクティビティ等での感動も共有しやすいと思います。

洪　でも、今のままでは伊藤さんの話の逆もあり得ますよ。新世紀ライオンズクラブより、他のクラブの方が面白そうという選択。早く魅力あるクラブ作りをしていかなくては、と思います。

小松　では、魅力あるクラブとはどんな姿でしょう。私は達成感を共有出来るクラブだと思います。

伊藤　親クラブに迷惑を掛けることなく自分たちで考え立ち上げたアクティビティが地域の人に喜ばれ、更にメンバー皆が感動を共有出来るクラブに発展していければいいなと思っています。

洪　思いついたことがすぐに実行に移せるクラブでしょうか。いずれにしても今のままではいけないという危機感と、新世紀ライオンズクラブの理想像は見えてきました。皆さん、共に新世紀ライオンズクラブを盛り上げていきましょう。

構成／砂山幹博（ルポライター）

334‐A地区でCSFⅡ親善チャリティー・ゴルフコンペ

九月二十六日、愛知県豊田市の東名古屋カントリークラブで、334‐A地区（愛知県／鈴木誓男地区ガバナー）のCSFⅡ親善チャリティー・ゴルフコンペが開催された。CSFⅡMDセクター・コーディネーターでもある鈴木ガバナーの発案によるもので、四百十五人、百五組が参加。午後五時からチャリティー贈呈と表彰式が行われた。奥村仁志大会会長（元協議会議長）は、「世界には失明の危機にある方たちが大勢います。キャンペーンの趣旨をよく理解し協力して頂きたい」とあいさつ。その後、参加会費などによるチャリティー百七十四万八百八十三円の目録が、尾関秀一リジョン・チェアパーソンから栢森新治CSFⅡナショナル・コーディネーターに贈呈された。栢森コーディネーターは、「アフリカでは一人六百円で河川失明症の予防が出来ます。このチャリティーで、二千九百人の人を失明から守ることになります」と、視力ファーストの意義をアピールした。続くオークションと成績発表でも多くのドネーションが集まり、総額百九十九万百二十三円がCSFⅡ指定献金としてLCIFに送金された。

二〇〇六年国際大会開催地はボストンに変更

来年の国際大会のホスト・シティに決まっていたルイジアナ州ニューオーリンズが、ハリケーンにより甚大な被害を受けたことから、国際理事会は代替地としてマサチューセッツ州ボストンでの開催を決定した。日程は二〇〇六年六月三十日から七月四日。

メータ国際会長の緊急メッセージ

十月八日に発生したパキスタン北部の大地震を受け、アショク・メータ国際会長は以下のメッセージ（抜粋）を発表した。

「この十カ月で私たちは多くの人々の貴い命を失いました。まず、南アジアを襲った津波、次にハリケーン・カトリーナ、そして今度は巨大地震が、パキスタンとインドの国境付近、カシミール地方を襲いました。世界中のライオンズが両国で何万人もの命が奪われたこと

に、深い哀悼の意を表しています。
　ＬＣＩＦは、短期及び長期的復興支援のための大災害援助金二十万☒と、被災地域のライオンズによる物資の配給を助ける緊急援助金を交付しました。世界中の多くのライオンズが被災地の支援をすることを望み、その方法を求めています。そこで、地震災害基金『Pakistan Earthquake Relief（パキスタン地震支援）』を設置しました。また、被災地域のニーズに即した支援のために委員会を立ち上げ、パキスタンのニロファー・バクティアー元国際理事が委員長を務めます。
　私たちは多くの命が奪われ、多くのものが破壊されたことに深い悲しみを覚えます。私たちの心と祈りは、パキスタン及びインドで被害に遭われたすべての方々に向けられています。心を込めて　アショク・メータ」

パキスタン大地震に対する日本ライオンズの支援

　十月十日、仙台フォーラム閉会式終了後に、八複合地区のガバナー協議会議長が緊急会議を開き、八日に発生したパキスタン大地震の被災者救援のため、特定口座を開設して会員一人当たり五百円を目安に援助金を募ることを決定した。

会議録

8月 9月 10月

主な議題だけをまとめました

複合地区ＩＴ委員長連絡会議

　第一回複合地区ＩＴ委員長連絡会議は八月三十一日、日本ライオンズ連絡事務所で開催され、Ⅰ世話人、副世話人互選、Ⅱ前年度引き継ぎ事項と今年度の取り組み①ＩＴ委員会の位置づけ、②ＷＭＭＲ、③国際本部の対応、ⅢＩＴ専門委員の課題①今後の情報技術への取り組み、②サバンナ・システム導入のすすめ、③ＨＰ情報の掲載、④委員長連絡会議へのＩＴ専門委員の出席、Ⅳライオンズ・ＩＴパワーアップ・フォーラムについて協議した。
　Ⅰは竹本實生委員長を世話人、岡野正義委員長を副世話人に互選。
　Ⅱ①は『ライオンズ必携』にＩＴ委員会の職責を明文化出来るよう努める。

複合地区ＹＥ委員長連絡会議

　第一回複合地区ＹＥ委員長連絡会議は九月六日、日本ライオンズ連絡事務所で開催され、①世話人互選、②複合地区ＹＥ委員長の手引き、③本年度活動計画、④海外通信窓口担当地区の確認と業務内容、⑤各地区旅行代理店の確認と業務内容、⑥前年度申し送り事項、☒〇四年度収支会計報告、☒〇五年度ＹＥ書籍頒布、☒冬期交換☒派遣生、☒来日生について協議した。
　①は重松良次委員長を世話人、桜井照保委員長を副世話人に互選。

日本ライオンズ連絡事務所管理委員会

　第一回日本ライオンズ連絡事務所管理委員会は九月七日、日本ライオンズ連絡事務所で開催され、①連絡事務所管理委員会規定、②委員長互選、③〇五年度収支予算案、④前年度からの引き継ぎ、⑤報告確認事項について協議した。
　②は高橋昌一委員を委員長に互選。
　⑤は九月から職員一名の採用を決定したことを報告。

臨時複合地区ガバナー協議会議長連絡会議

　臨時複合地区ガバナー協議会議長連絡会議は九月十日、日本ライオンズ連絡事務所で開催され、①ハリケーン「カトリーナ」災害支援、②メータ国際会長の公式訪問日程、③第44回ＯＳＥＡＬフォーラムについて協議した。
　①は世話人名で口座開設、全日本で統一し寄付を募る。会員一人五百円以上とし、九月末日を期限に約六千万円を集める。

複合地区会則委員長連絡会議

　第一回複合地区会則委員長連絡会議は九月十三日、日本ライオンズ連絡事務所で開催され、①世話人、副世話人互選、②二〇〇五年会則改正の確認、③二〇〇五年香港国際理事会決議の確認、④前年度申し送り事項、⑤『ライオンズ必携』第46版、『二〇〇六～〇七ライオンズクラブ役員必携』の製作、⑥ライオンズクラブ国際協会賠償責任保険制度と『役員必携』『ライオンズ必携』への掲載、⑦その他について協議した。
　①は太田道信委員長を世話人、小野善男委員長を副世話人に互選。
　⑥は双方に掲載し、会員にその存在を周知する。

ライオン誌日本語版委員会

　第三回ライオン誌日本語版委員会は九月二十六日、ライオン誌日本語版事務所で開催され、①ミニ・フォーラム及び移動委員会開催、②十月号出来、③十一月号以降台割と主要記事予定、④ウェブサイト更新状況、⑤サバンナ報告状況、⑥その他について協議した。
　①は共通プログラム千部を各地区キャビネットなどに送付。ミニ・フォーラム終了後、十六時半から第四回会議を開催。
　③はＴＨＥＭＥを十一月号「仙台フォーラム」、十二月号「ミニ・フォーラム／明日のライオンズを考える」、一月号「視力ファースト」とする。

ライオンズ・アイバンク週間

二〇〇五年十二月四～十日はライオンズ・アイバンク週間。世界で最初の角膜移植は、一九〇五年十二月七日に現在のチェコ共和国で、エドアルド・ザーム医師によって行われ、今年はちょうど百周年にあたる。ザーム医師の角膜移植成功に続いて多くの眼科医が視力回復手術を実施。四四年にはアメリカ・ニューヨークに世界初のアイバンクが設立され、その後間もなくスタテンアイランド・セントラル・ライオンズ(クラブ)がアイバンク支援の活動を始めた。国際協会は八四年にライオンズ・アイバンク・プログラムを正式に採用。現在、ライオンズクラブは九カ国で六十のライオンズ・アイバンクを助成している（国際協会発表）。

アカデミー賞のノミネート推薦は十二月末まで

来年の国際大会で表彰されるライオンズクラブ国際協会アカデミー賞ノミネートの推薦を、十二月三十一日締切で募集中。この賞は十五部門で優れた功績のあった個人やクラブ、地区に贈られる。前回の香港国際大会では、330‐A地区（東京都）が最優秀地区賞の栄誉に輝いた。各部門の名称や申請方法を記したアカデミー賞推薦用紙は、公式ウェブサイトの「情報資源」内、「書式及びガイド」の「PR」ページでダウンロード出来る。

2004-05年度日本ライオンズ連絡事務所決算公告

貸借対照表 単位：円

日本ライオンズ連絡事務所
2005年6月30日

資産の部		負債及び正味財産の部	
科目	金額	科目	金額
Ⅰ 資産の部		Ⅱ 負債の部	
1 流動資産	**94,063,583**	1 流動負債	**96,690**
現金	143,148	預り金	96,690
銀行預金	81,496,344		
郵便貯金	10,961,435		
頒布品	31,028		
立替金	594,668		
前払金	836,960		
2 固定資産	**46,845,032**	Ⅲ 正味財産の部	
基本財産		正味財産	**140,811,925**
銀行預金	35,000,000	（うち基本金）	35,000,000
基本財産合計	35,000,000	（うち当期正味財産増加額）	4,056,005
その他の固定資産			
敷金	5,266,080		
保証金	50,000		
電気設備	1,540,000		
什器備品	4,556,200		
OA機器類	866,534		
減価償却累計額	△ 433,782		
その他の固定資産合計	11,845,032		
資産合計	140,908,615	負債及び正味財産合計	140,908,615

収支計算書 単位：円

自2004年7月1日
至2005年6月30日

科目	予算額(	決算額	差異	執行割合
収入の部				(%)
会費収入	45,000,000	45,255,960	△ 255,960	100.6
受取利息収入	11,000	6,969	4,031	63.4
頒布品差額収入	0	1,697,913	△ 1,697,913	–
雑収入	600,000	390,663	209,337	65.1
基本財産利息収入	10,000	12,000	△ 2,000	120.0
敷金戻り収入	4,170,000	4,170,000	0	100.0
基本財産取崩収入	15,000,000	15,000,000	0	100.0
(A) 当期収入合計	64,791,000	66,533,505	△ 1,742,505	102.7
前年度繰越収支差額	82,585,920	82,585,920	0	100.0
(B) 収入合計	147,376,920	149,119,425	△ 1,742,505	101.2
支出の部				
議長連絡会議費	150,000	218,819	△ 68,819	145.9
委員長連絡会議費	150,000	138,291	11,709	92.2
管理委員会会議費旅費	3,000,000	3,224,859	△ 224,859	107.5
国際大会・アジアフォーラム関係費	1,200,000	1,064,213	135,787	88.7
人件費	17,200,000	16,414,573	785,427	95.4
福利厚生費	2,500,000	1,617,785	882,215	64.7
印刷費	1,000,000	822,701	177,299	82.3
通信費	2,000,000	1,509,518	490,482	75.5
旅費交通費	1,000,000	470,119	529,881	47.0
借室料水道光熱費	10,000,000	9,562,953	437,047	95.6
リース・レンタル料	1,200,000	1,201,181	△ 1,181	100.1
IT関係費	660,000	79,200	580,800	12.0
事務用品費	300,000	120,591	179,409	40.2
図書費	100,000	31,761	68,239	31.8
顧問料	960,000	960,000	0	100.0
支払手数料	100,000	106,277	△ 6,277	106.3
敷金支出	5,266,080	5,266,080	0	100.0
保証金支出	50,000	50,000	0	100.0
電気設備取得支出	1,540,000	1,540,000	0	100.0
什器備品購入支出	4,700,000	4,556,200	143,800	96.9
OA機器類購入支出	1,000,000	866,534	133,466	86.7
移転関連費	4,619,280	3,729,839	889,441	80.7
減価償却費	500,000	433,782	66,218	86.8
雑費	150,000	105,884	44,116	70.6
租税公課	700,000	1,495,154	△ 795,154	213.6
予備費	1,494,640	0	1,494,640	–
(C) 当期支出合計	61,540,000	55,586,314	5,953,686	90.3
(A)－(C) 当期収支差額	3,251,000	10,947,191	△ 7,696,191	
(B)－(C) 次期繰越収支差額	85,836,920	93,533,111	△ 7,696,191	

2004-05年度ライオン誌日本語版事務所決算公告

貸借対照表　　単位：円

ライオン誌日本語版事務所
2005年6月30日

資産の部	289,034,191	負債の部	54,770,874
流動資産	(285,846,457)	流動負債	(23,002,878)
現金	7,760	未払金	21,044,004
普通預金	69,786,133	前受金	924,000
定期預金	30,000,000	預り金	1,034,874
郵便振替貯金	175,167,691		
未収入金	3,598,601		
貯蔵品	28,350		
頒布品	2,440,365		
前渡金	50,000	固定負債	(31,767,996)
前払費用	2,525,038	退職給与引当金	31,767,996
立替金	2,182,211		
仮払金	60,308		
		正味財産の部	234,263,317
固定資産	(3,187,734)	基金	130,000,000
有形固定資産	(746,234)	資料整備準備金	15,000,000
什器備品	746,234	事務改善等積立金	27,183,889
無形固定資産	(613,000)	為替差損準備金	44,039,956
電話加入権	239,200	未処分収支差額金	
コンピュータ・ソフトウエア	373,800	前期繰越収支差額金	11,744,737
その他の固定資産	(1,828,500)	当期収支差額金	6,294,735 18,039,472
差入保証金	1,828,500		
合計	289,034,191	合計	289,034,191

収支計算書　　単位：円

自2004年7月1日
至2005年6月30日

収入の部				
科目（項）	科目（目）	予算額	執行額	差額
購読料収入		159,744,000	158,374,491	1,369,509
	国際会費還付金	82,944,000	82,446,941	497,059
	特別負担金	76,800,000	75,927,550	872,450
広告料収入		30,000,000	26,793,900	3,206,100
その他収入		5,030,000	6,686,376	-1,656,376
	頒布品収支差額	2,500,000	3,875,056	-1,375,056
	収入利息	30,000	19,825	10,175
	雑収入	2,500,000	2,791,495	-291,495
前期繰越収支差額金		11,744,737	11,744,737	0
合計		206,518,737	203,599,504	2,919,233

支出の部				
科目（項）	科目（目）	予算額	執行額	差額
直接出版費		99,940,000	94,990,505	4,949,495
	印刷費	61,800,000	59,054,259	2,745,741
	発送事務費	19,800,000	19,041,483	758,517
	旅費交通費	3,230,000	3,860,814	-630,814
	取材費	600,000	401,149	198,851
	原稿料	14,400,000	12,533,541	1,866,459
	広告関係諸費	60,000	47,284	12,716
	雑費	50,000	51,975	-1,975
委員会費		6,400,000	5,742,913	657,087
	旅費交通費	6,050,000	5,538,620	511,380
	会議費	150,000	65,993	84,007
	雑費	200,000	138,300	61,700
事務費		87,311,000	84,826,614	2,484,386
	人件費	53,510,000	50,943,122	2,566,878
	福利厚生費	7,540,000	7,035,170	504,830
	旅費交通費	1,990,000	1,831,550	158,450
	通信費	2,220,000	2,438,772	-218,772
	備品費	300,000	318,416	-18,416
	事務用品費	1,020,000	1,213,589	-193,589
	図書費	120,000	92,315	27,685
	消耗品費	50,000	31,687	18,313
	顧問料	851,000	850,500	500
	支払手数料	108,000	107,885	115
	保守・修繕費	1,110,000	1,405,177	-295,177
	借室料	9,216,000	9,215,640	360
	水道光熱料	456,000	475,532	-19,532
	租税公課	1,000,000	766,556	233,444
	減価償却費	1,000,000	1,047,351	-47,351
	退職給与引当金繰入額	3,700,000	4,085,067	-385,067
	東法連退職積立金	1,920,000	1,770,000	150,000
	雑費	1,200,000	1,170,801	29,199
	固定資産廃棄損		27,484	-27,484
予備費		12,867,737		12,867,737
前期繰越収支差額金			11,744,737	-18,039,472
当期収支差額金			6,294,735	
合計		206,518,737	203,599,504	2,919,233

NEWS CASSETTE

二〇〇四年度末レオ・ライオネス統計

日本ライオンズ連絡事務所の調べによると、〇五年六月三十日現在、日本国内のレオクラブは一四九クラブ、会員数は三、〇七五人、ライオネスクラブは一四一クラブ、会員数は三、八五八人だった。〇四年度中に新たに結成されたレオクラブは八、解散は三。ライオネスクラブは新結成一、解散十三、解散のうち一クラブがクラブ支部に転換した。

クラブ名称変更

大阪浪速西→大阪浪速
静岡県・浜岡→御前崎

訃報

ライオン水江和昭（福岡鴻臚館）
九月十日死去、75歳。一九七四年福岡西ライオンズクラブ入会、八九年福岡鴻臚館ライオンズクラブチャーター・メンバー。九八年度337－A地区ガバナー。

ライオン中尾是正（東京渋谷）
十月十五日死去、83歳。一九六〇年東京渋谷ライオンズクラブ入会。八八年度330－A地区ガバナー。

SightFirst Update

子どもたちに視力のプレゼントを贈る ライオンズとジョンソン＆ジョンソン

■タイでのライオンズとヘルス・ケア・ワーカー、ジョンソン＆ジョンソン・ビジョン・ケア社の社員によるチームは、3年間で35万人もの子どもたちに対して、屈折異常などの視覚異常の検査を実施した。

タイではライオンズが一斉に学校を訪れている。視覚異常の検査を行い眼鏡を配るためだ。この検査は「サイト・フォー・キッズ」プログラムの一環として実施されている。サイト・フォー・キッズはLCIFとジョンソン＆ジョンソン・ビジョン・ケア社が協力し、子どもたちに視力検査とアイ・ヘルス教育を行うという壮大な取り組みだ。同社はタイのほかにも、韓国、台湾、香港、インド、中国、マレーシアで「サイト・フォー・キッズ」を実施するため、四年間にわたり八十三万五千ドルもの資金を提供している。

アメリカ国立眼科研究所の調査によれば、アジアの一部の国では十五歳以下の子どもの一五パーセント以上に、近視による重大な視覚異常が見られる。残念なことに、就学児童の屈折異常の半数以上が発見されず、矯正せずに放置されている。

一月にバンコク市立学校で行われた活動には、ライオンズ二十四人、看護師数人と、ジョンソン＆ジョンソン・ビジョン・ケア社のアジア太平洋マネジメント・チームから七十人以上が集まった。ボランティアたちは、これまでの検査で異常の見つかった子どもたち二百人に眼鏡を渡した。更に約七百五十人の子どもに対して、屈折異常やその他の視覚異常の検査を実施した。その子どもたちにも、近い将来、眼鏡や病院での必要な治療が施される。

二〇〇二年十月にタイでサイト・フォー・キッズが開始されて以来、バンコクの四百三十一校で三十四万五千三百七十三人の子どもたちが検査を受けた。六千二百四十五人が眼鏡の処方を受け、更に、斜視、弱視、眼瞼下垂などの症状で病院での治療を必要とする子どもが二百三十一人いた。このプログラムを実施している委員会では、必要な子どもが全員治療を受けられるように、引き続き追跡調査を行っている。

検査を行うのはライオンズや教師など訓練を受けたボランティア九百二十一人で、プログラムの運営にはブティ・ブーンコーンウォラウィット元国際理事が協力し、ジョンソン＆ジョンソン・ビジョン・ケア社、タイのライオンズ、タイ公衆衛生省、バンコク首都府が協力して行った取り組みの調整役を果たす。また、視力ファーストで東南アジア担当の技術顧問を務める紺山和一博士も、専門の技術的知識や指導で貢献している。

サイト・フォー・キッズによって、タイの教師は視力検査の技術を身に付け、将来にわたって生徒たちの目のケアを続けられる。眼病を早期に見つけ出すだけでなく、教育関係者とヘルスケアに携わる人々、ライオンズのボランティアによる協力関係を作り出した点で貴重な活動である。

今後は活動範囲を広げる予定で、今年末までに更に四十二万人の子どもたちが検査を受けるだろう。ライオンズは検査費用が一人平均二十セントという驚くべきコストパフォーマンスで、子どもたちに視力という贈り物を届けている。

日本ライオンズクラブ クラブ数・会員数

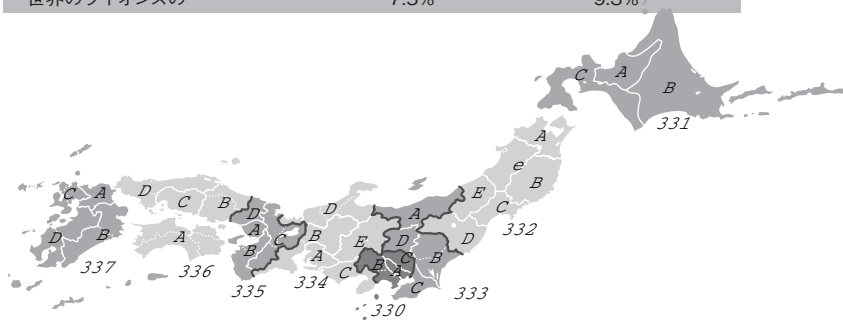
（2005年8月31日　各地区キャビネット事務局集計）

世界のライオンズ

2005.7.31.国際協会集計	■クラブ数	■会員数	期首からの増減
ライオンズ国または領域　194	45,376	1,319,364	△3,879

日本のライオンズ

2005.8.31. 各キャビネット事務局集計		■クラブ数	期首からの増減	■会員数	期首からの増減
330- A	東京	207	△ 1	5,676	74
330- B	神奈川・山梨・東京	194	2	5,980	117
330- C	埼玉	108	0	3,010	23
330	計	509	1	14,666	214
331- A	北海道（道央地区）	77	0	2,925	△ 1
331- B	北海道（道北・道東地区）	101	0	3,301	29
331- C	北海道（道南地区）	63	0	2,285	24
331	計	241	0	8,511	52
332- A	青森	68	0	2,207	26
332- B	岩手	57	0	1,939	0
332- C	宮城	85	0	1,920	24
332- D	福島	81	0	2,356	23
332- E	山形	56	0	2,091	10
332- F	秋田	57	0	1,688	△ 9
332	計	404	0	12,201	74
333- A	新潟	80	0	3,034	42
333- B	茨城・栃木	138	0	4,412	15
333- C	千葉	128	2	3,618	67
333-D	群馬	55	0	2,179	35
333	計	401	2	13,243	159
334- A	愛知	117	0	6,126	62
334- B	岐阜・三重	89	0	4,241	54
334- C	静岡	84	0	3,598	31
334- D	富山・石川・福井	98	0	4,500	61
334- E	長野	55	0	2,461	27
334	計	443	0	20,926	235
335- A	兵庫東	112	△ 3	3,233	25
335- B	大阪・和歌山	203	0	7,513	28
335- C	滋賀・京都・奈良	123	0	4,904	36
335- D	兵庫西	69	0	2,515	14
335	計	507	△ 3	18,165	103
336- A	徳島・高知・香川・愛媛	154	0	6,675	46
336- B	鳥取・岡山	102	0	4,093	12
336- C	広島	106	0	4,268	43
336- D	島根・山口	110	0	4,043	△ 26
336	計	472	0	19,079	75
337- A	福岡・長崎	118	0	5,201	73
337- B	大分・宮崎	92	△ 1	3,145	22
337- C	佐賀・長崎	82	1	3,318	37
337- D	熊本・鹿児島・沖縄	146	0	4,830	73
337	計	438	0	16,494	205
総計		3,415	0	123,285	1,117
世界のライオンズの		7.5%		9.3%	

CLUB REPORT クラブ・リポート

●この欄ではライオンズクラブ、レオクラブ、ライオネスクラブの活動報告を扱います。詳しい投稿要領は57ページをご覧ください。

岡山県・真庭旭ライオンズクラブ
小学生、富士山登頂に挑む

八月八日から十一日まで小学生が日本の最高峰・富士山に挑む「富士登山教室」（長尾貴行代表）が開催された。十一回目となる今回は、小学校五、六年生四十二人が参加。子どもたちに登山を通して困難を克服する強さを養ってもらおうと、真庭旭ライオンズクラブ（岡田健会長／24人）は、メンバーを引率者として参加させるなど、今年も登山教室を後援した。

子どもたちは事前に訓練を受け、十分な態勢で富士山頂を目指した。九日に五合目を出発、登るにつれ変化する景色に歓声を上げながら子どもたちは進む。八合目の山小屋で一泊。この時点で既に高山病による頭痛などから吐き気を訴える子どももいた。十日の午前四時、長尾代表の叱咤激励の声が飛び、ようやく頂上にたどり着いた。前日と違い、子どもたちのしんどそうな表情が目立つ。しかし弱音を吐く子はいない。出発して一時間足らず。雲のすき間から赤い光が差し込んだ。「御来光」だ。子どもたちの顔も明るくなった。

やっと頂上についても、まだ長い下山が待っている。子どもたちは頭痛や足の痛みと戦いながら、最後まで歩き続けた。互いに励まし合いながら、日本一の山を極めることが出来、子どもたちは皆誇らしい笑顔を見せていた。

（誉美彰弘）

（編）子どもたちは最高点の三七七六メートルを目指す「お鉢巡り」にも挑戦、全員が踏破に成功したそうです。

連絡先→TEL〇八六七・四二・五一一〇

北海道・釧路みなとライオンズクラブ
車いすマラソン大会開催

イラスト／篠田和夫

釧路みなとライオンズクラブ（松並正幸会長／30人）は八月二十八日、釧路市と共に、第二十回釧路湿原全国車いすマラソン大会を開催しました。大会には昨年のアテネ・パラリンピック金メダリスト土田和歌子選手を始め、十七都道府県から集まった選手百二十人が参加。障害者だけでなく、健常者約四十人も車いすに乗って競技に加わりました。

コースは釧路市民陸上競技場を中心とした二キロ、八キロ、ハーフマラソン（約二十一キロ）の三つ。ハーフマラソンの選手たちは、細いタイヤと軽量化されたフレームを持つ競技用の車いすに乗り込み、自転車並みと言われるスピードを生かした迫力あるレースを展開。力強いストロークで釧路の街を駆け抜けました。

沿道には国際舞台で活躍する選手たちを一目見ようと大勢の観客が詰めかけ大きな声援を送っていました。観客も会員も、選手から勇気と感動をもらった一日でした。

（社会福祉委員長／黒田秀紀）

（編）ハーフマラソン一位の久保恒造選手のタイムは四十四分二十三秒。二位の花岡伸和選手との差わずか一秒のデッド・ヒートでした。

連絡先→TEL〇一五四・三一・三七一〇

千葉県・銚子ライオンズクラブ

中間法人設立でライオンズ会館取得

銚子市清川町一丁目にでっかくオープンした「銚子ライオンズクラブ会館」の竣工記念式典と千回例会が九月四日（日）、犬吠埼京成ホテルで開催。銚子ライオンズクラブと姉妹提携を結ぶ台湾・台北市の龍山ライオンズクラブ、群馬県・桐生中央ライオンズクラブなど、大勢のライオンズ関係者が訪れ、同クラブの新たな出発を盛大に祝った。

竣工した「銚子ライオンズクラブ会館」は、ライオンズクラブをこよなく愛した故ライオン鈴木仁三の令夫人・鈴木寿美さん、故ライオン片倉逸の令息・片倉透氏からの基金を得て、銚子市清川一丁目の旧ジブラルタル生命跡に設置。百三十五坪に鉄筋コンクリート陸屋根二階建て百十三坪のビッグスケール。駅からもほど近い抜群の立地環境と奉仕のライオンズ精神を生かし、今後はボランティア団体等にも有効利用してもらう考えだ。

（『大衆日報』9月6日）

（編）銚子ライオンズクラブでは今回、土地と建物の取得のために、「中間法人銚子ライオンズ会館」を設立しました。中間法人とは平成十四年からスタートした新しい法人制度で、これによりサークルや町内会など、非公益かつ非営利目的の団体にも法人格を取得する道が開かれました。ライオンズクラブでは332・C地区、330・A地区などが、既に中間法人を設立しています。

連絡先→TEL〇四七九・二四・五八五八

兵庫県・三木ライオンズクラブ

納涼花火例会に市民ら参加

八月一日、三木市内を貫流する美嚢川の河川敷で行われた三木夏祭り花火大会に合わせて、三木ライオンズクラブ（秋山為之会長／56人）は、ジャスコ三木店の協力の下、同店駐車場で納涼花火盆踊り大会を盛大に開催、市民ら約三百人が参加しました。

第一部は大辻利弘335・D地区ガバナーを始め多くのゲストを招いての例会。第二部は「たそがれコンサート」と銘打って、当クラブのライオン長谷川功男率いる「ベィシースペシャルバンド」によるジャズ演奏が披露されました。そして、メーン・イベントの盆踊り。

今年は「和太鼓塾」の皆さんが加わり、踊りと太鼓の融合、そして目の前に打ち上がる花火……最高のコラボレーションとなりました。また、関西国際大学の留学生や、三木市国際交流協会の日本語教室の生徒さんも招待し、浴衣を着て一緒に踊りの輪に入り、楽しんでもらいました。

最後に参加者全員が輪になり、バンドの演奏で「また会う日まで」を斉唱。秋山会長の方針である、「市民交流と国際交流」とを同時に深めた素晴らしい一日となりました。

（計画委員長／有野勇）

（編）大辻ガバナーは、「こうした市民参加のアクティビティこそがライオンズの発展につながる」と評価していたそうです。

連絡先→TEL〇七九四・八二・八八三七

東京城北ライオンズクラブ

温暖化防止に「打ち水大作戦」

今年、結成四十周年を迎えた東京城北ライオンズクラブ（武居正幸会長／26人）では、環境保全事業に重点を置いて、さまざまな施策を計画しています。その一環として、先人の知恵として見直され、全国に広がりつつある「打ち水大作戦」に参加しました。これは、打ち水の効果を科学的に検証しようとNPO法人「日本水フォーラム」が協力を呼び掛けているものです。

打ち水には気温を下げる効果があり、ヒートアイランド現象の抑制や冷房に使う電気の節約、ひいては地球温暖化防止に役立ちます。

「作戦」は八月十九日、武居会長の経営するタクシー会社の敷地内で行われました。会員のほか、夏休みの研究課題にしようと会員の子どもたちも参加、総勢十七人がひしゃくやバケツで勢いよく水をまきました。使用した水は約百十リットル。環境への配慮から水道水ではなく、雨水や洗車に用いた井戸水、クーラーから出た水などをタンクにためたものを使いました。

打ち水前の気温は四十二度でしたが、打ち水後には四十度に低下。地表温度は四十九度から三十四度と、実に十五度も下がり、涼しさが実感出来ました。

（環境委員長／渡辺三男）

（編）三回目を迎えた今年の「打ち水大作戦」には、全国で約百三十四万人が参加したそうです。

連絡先→TEL〇三・三五五二・九一〇一

岐阜県・各務原飛鳥ライオンズクラブ

危険な戦時中の地下壕を封鎖

各務原飛鳥ライオンズクラブ（沢井安直会長／35人）は九月八日、各務原市鵜沼大安寺町に残る戦時の地下壕の封鎖作業をした。崩落や酸欠の恐れがあるにもかかわらず侵入者が絶えなかったといい、地元住民らは「ひとまず安心」と喜んでいる。

各務原市市教育委員会などによると、この地下壕は一九四五年（昭和二十年）、飛行機のエンジンを隠すため朝鮮人労働者らによって掘られたとされている。開口部は幅約三メートル、高さ約三・五メートルのアーチ形で、奥行きは約四十八メートル。内部はP字型に掘られており、全長は約百四十メートルに及ぶ。

立ち入り禁止の看板は立っているが、内部で遊んだりたき火をしたりする者が相次いだ。これまで、地元自治会などがトタン板などで再三ふさいだが、そのたびに壊されてしまったという。

今年四月には、鹿児島市の地下壕で中学生四人が一酸化炭素中毒死する事故もあり、市の補導委員も務める沢井会長が「子どもらが巻き込まれないように」と封鎖事業を計画。地主の了解を得て、頑丈な鉄製建材を使ってふさぐことにした。

この日の作業には、各務原署や市東消防署も協力。消防署員七人が壕内に入って残された人がいないか確認した後、クラブ会員約三十人が建材を開口部に固定していった。

立ち会った亀井洋志各務原署生活安全課課長は、

「中では非行行為もあったようなので、子どもの安全確保はもちろん、非行防止にもつながる」

と話した。　（『中日新聞』9月9日）

（編）地元自治会からクラブあてに礼状が届いたそうです。国の調査では、全国に約五千カ所の地下壕が確認されましたが、そのほとんどが放置されたままです。

連絡先→TEL〇五八三・七一・二六四五

東京、東京日比谷、東京馬場先門ライオンズクラブ

地雷除去活動に支援金贈呈

東京ライオンズクラブ（井上正義会長／47人）は九月二十二日、東京日比谷、東京馬場先門両クラブと合同で、「人道目的の地雷除去支援の会（ＪＡＨＤＳ（ジャッズ））」に支援金を贈りました。ＪＡＨＤＳはタイやカンボジアで地元住民らと共に地雷除去に取り組むＮＰＯ法人です。当クラブは二〇〇二年に五十周年記念事業としてＪＡＨＤＳに金属探知器や車輌など約二千万円分を寄贈。以来、支援を続けています。

贈呈式は、都内のホテルで開かれた当クラブの例会で行われ、約七十人が参加。高橋義太郎332複合地区ガバナー協議会議長を始め、都内約二十クラブの代表をお招きし、また、当クラブが奨学金を出してカンボジアやネパールなどから招いた留学生四人にも出席してもらいました。

贈呈式の後、ＪＡＨＤＳの冨田洋事務局長が、タイ東北部のカンボジア国境付近での地雷除去プロジェクトについてスピーチ。参加者たちは、大型スクリーンに映し出される現地の様子を見つめ、熱心に耳を傾けました。冨田事務局長は「資金集めを含む地雷除去活動のすべてを、現地住民たち自らが行う態勢作りが当面の目標」と熱っぽく語りました。

インドからの留学生サハ・サンジェイさんは「自分も地雷除去に参加したい。地雷の問題についてもっと勉強しなければ」と感想を話していました。また、井上会長は「メンバーの年齢が高いため、地雷除去作業に直接参加するのは難しいが、今後もＪＡＨＤＳを資金面から協力していきたい」としています。

（元地区ガバナー／池崎道男）

（編）世界では現在も、三十分に一人の割合で民間人が地雷の被害に遭っていて、その二五パーセントが子どもと言われています。

連絡先→TEL〇三‐三五五二‐九二〇一

福島信夫ライオンズクラブ
万博招待の児童から感謝の手紙

福島信夫ライオンズクラブ（19人）にこのほど、七月に開催された「ライオンズ子ども万博デー」に参加した児童から感謝の手紙が届きました。子ども万博デーは、ライオンズの愛知万博支援事業の一つで、全国の小中学生約三千人を万博に招いて、夢と感動を与えるもの。332-D地区では、各クラブが行う平和ポスター・コンテストに入賞した児童とその保護者ら約五十人を招待しました。

手紙を寄せたのは、福島市内の小学校六年生、大石裕菜さんと大橋千春さん。二人は、当クラブ主催の平和ポスター・コンテストで金賞に輝き、副賞として万博行きを獲得。七月二十七日から一泊二日の日程で、万博のほか名古屋城やトヨタグループの産業技術記念館などを見学しました。

大石さんは手紙の中で、冷凍マンモスの大きさに驚いたことや、インド館やネパール館など各国のパビリオンを見学したことに触れて、「こんなにたくさんの体験が出来たのはライオンズクラブの方々のおかげ」と書いています。

また、東京より西に行くのは初めてという大橋さんは、「いろんなものが輝いて見えて、うれしくてたまらなかった」とつづり、「最高の思い出をありがとうございました」と結んでいました。

（会長／橘剛）

（編）大橋さんは「一生懸命やれば、こんな素敵なことがあるのを忘れずにがんばります」と記しています。

連絡先→TEL〇二四・五二一・二九四〇

東京晴海ライオンズクラブ
故迫水国際理事がくれた本

東京晴海ライオンズクラブ（32人）の会員になって、はや四十年、八十二歳になります。

一九六五年の入会直後に、初代会長から会報の編集を仰せつかり、三年間苦労しましたが、今ではいい思い出です。当時のガバナーは、ライオン迫水久常、終戦時の鈴木貫太郎内閣の内閣書記官長としてご存じの方も多いと思います。ライオン迫水は当クラブ会員の会社の顧問でもありましたので、会報に原稿を寄せて頂いたり、例会でスピーチをお願いしたりしていました。

私が幹事を務めた一九七四年、参議院議員だったライオン迫水を例会にお招きして、時の田中角栄内閣の動向についてスピーチして頂きました。その時に『終戦の真相』という本を「幹事で忙しいでしょうが、読んでください」と渡されました。一読してびっくり。というのも、私は四年半、南方に従軍していましたので、終戦の経緯は復員して断片的に聞いただけで、後は生きることに精いっぱい、働きづめだったからです。

本には、御前会議で「御聖断」に涙を流す閣僚の様子や、ライオン迫水が思想家の安岡正篤に相談しながら詔書を起草したことなどが克明に描かれていました。また、本土決戦を主張する青年将校たちに、玉音を録音したレコード盤を奪われそうになったこと、自決した阿南惟幾陸軍大臣の苦悩する様も記されていました。

戦後六十年、現在は息子に社業を譲り奉仕に励んでいます。

（元会長／齊藤善五郎）

（編）『終戦の真相』には、抗戦派がライオン迫水や鈴木首相の自宅を焼き討ちする様子も書かれています。

連絡先→TEL〇三・三五五二・九一〇一

ヘッドライン：茨城県常陸小川

まるごと 333複合地区

Headline ❶ 茨城県常陸小川

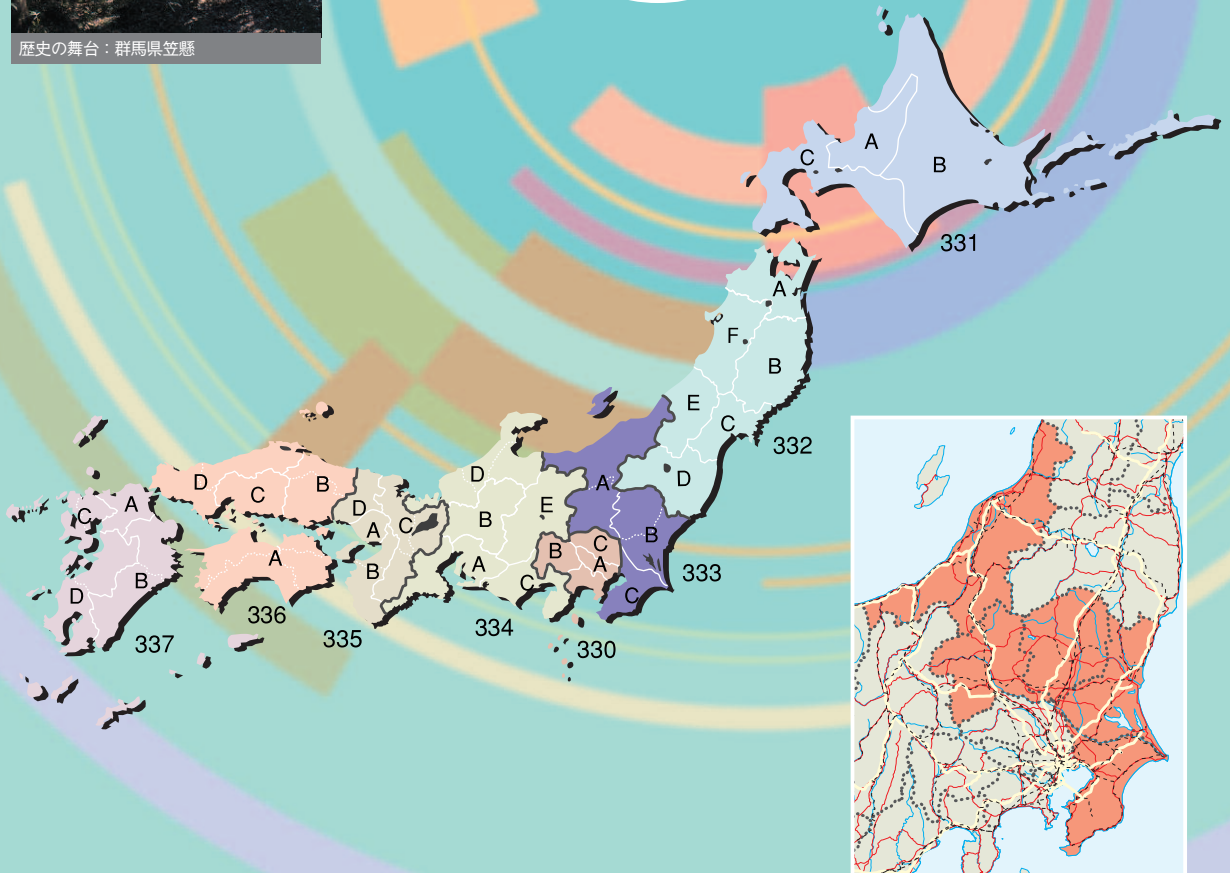
Topics
- ❶ 新潟県与板
- ❷ 栃木県足利西
- ❸ 茨城県日立ブーケ
- ❹ 千葉県松戸みどり
- ❺ 千葉県浦安中央
- ❻ 群馬県太田

ふるさと探訪　千葉県松戸

歴史の舞台　新潟県出雲崎

日本の風景　群馬県笠懸

ふるさと探訪：千葉県松戸

歴史の舞台：群馬県笠懸

霞ケ浦に波消しの水草を植えて、波にのまれた水辺の自然を取り戻せ

茨城県・常陸小川ライオンズクラブ
■取材／編集部

常陸小川ライオンズクラブ（大山光彦会長／29人）は、水質汚濁が問題となっている霞ケ浦に、波消し作用のある水草のアサザを植えた。水質改善の進まない原因は、コンクリート護岸の起こす波が、浄化能力を持つ砂浜やアシ原をえぐり取ってしまったことにある。護岸の前にアサザを植えて波を緩和、水辺の生態系を復活させ、かつての自然豊かな霞ケ浦の再生を目指す。

「完全に水遊びだな」
「潜った方が早いぞ」
日本で二番目に大きな湖の霞ケ浦。台風一過の青空の下、中年の男たち十数人が、両腕を水の中に突っ込んで湖底をまさぐっている。笑い声が絶えず、楽しそうだ。中にはパンツ一丁という御仁も。遊んでいるように見えるが、実はアサザを植えているところ。彼らが子どもだったウン十年前の「透き通っていて、いつも泳いでいた」霞ケ浦を取り戻すためだ。

常陸・小川町は霞ケ浦の北端に位置する。霞ケ浦はワカサギやシラウオなど、約八十種の魚が生息する自然豊かな湖だ。しかし、一九七〇年から湖岸全域をコンクリート護岸としたため、自然の浄化能力が失われた。八〇年代、都市化が進んで生活排水が流入、大量発生したアオコが悪臭を放つなど、水質汚濁が深刻化した。その後、下水道の整備により、水質の浄化が進んだが、抜本的改善には、自浄能力を持つ水辺の自然の復元が不可欠という。

そんなわけで、常陸小川ライオンズクラブは八月二十七日、小川町の霞ケ浦の湖岸に波消しや水質浄化の作用を持つアサザの苗約八十鉢を植え付けた。アサザは数ヘクタールに及ぶ大群落を形成する多年草で、かつては日本中で見られたが、現在は絶滅危急種。水面に浮かぶ無数の葉が波を消すので、湖岸を波の浸食から守り、砂浜の形成とアシ原の再生を促す。苗は、メンバーが自宅や職場に池を作り、二年かけて育てたものだ。

このアクティビティは、霞ケ浦の浄化を進めるNPO法人アサザ基金の「アサザプロジェクト」の指導と協力を受けて行ったもので、今回で二回目。二年前の前回は、地元の小学生たちと三百鉢を植えている。

一九九五年に始まった同プロジェクトは、護岸の前にアサザを植え付け、砂浜やアシ原を復活させ、かつて霞ケ浦に生息していた生き物たちを呼び戻すというもの。四十年後にはコウノトリが、百年後にはトキが霞ケ浦の空に舞う――そんな壮大な計画だ。

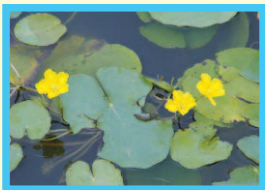
これまでに周辺住民らのべ八万三千人が参加、同クラブも二〇〇三年から加わった。

今回の植え付けには、メンバー十七人が参加。植えた場所は前回と同じ、ヨシ原が残る比較的波の穏やかな地点だ。それでも、波の力は強く、前回植えたアサザのほとんどが流されていた。

湖は台風による雨で水位が五十センチほど上昇、メンバーは肩まで水につかって、手探りで作業を行った。まず、アサザの苗をバケツリレーよろし

バケツリレーで苗を運ぶ

湖に入って童心に帰る（？）

蚊に悩まされながら植え付け作業をするメンバーたち

霞ケ浦に復活したアサザの大群落

苗をここまで育てるのに二年かかる

コイの死骸が浮くコンクリート護岸

く、護岸の上から湖の中に運び、スコップで砂地の湖底に穴を掘って置く。その上から長さ七十センチの太い針金を刺して金づちで叩き、湖底にしっかり打ち付けた。

当初、予想以上の増水に「延期しようか」とひるんだライオンズだったが、水に入ると童心に帰った様子。和気あいあいと二時間ほどで作業を終えた。

アサザプロジェクト開始から十年。当時植えたアサザは群落を形成している。水野貞夫元会長の案内で、その群落を見に行った。アサザが水面を埋め尽くし、三～四センチの黄色い花を咲かせている。

「これが私たちの目指している風景なんです」と水野元会長。満開になると黄色い島のように見えるという。

水質は徐々に改善され、カワセミやハクチョウも戻ってきた。霞ケ浦の自然は確実に再生しつつある。

大山会長は「昔と同じように、子どもたちが泳げる霞ケ浦にしたい」と話している。

与板十五夜まつりに彩りを添える手作りの絵燈籠。

新潟県・与板ライオンズクラブ

■取材／編集部

実りの季節を迎えた九月半ば、与板町はまつり一色に染まる。与板十五夜まつりは民謡流しや松明走行など多彩な行事があり、最高潮を迎える登り屋台では、二百数十年の伝統を誇る三台の屋台が坂を登る。大勢の人で賑わう商店街には、手作りの絵灯籠が彩りを添えている。

与板ライオンズクラブ（高橋信栄会長／17人）が主催する絵灯籠まつりは今年で十八回目を数える。一年で最も活気づく夜を、より一層盛り上げようと始まった。小学生、中学生、一般の部で作品を募集し、まつりを前に商店街に飾り付ける。高さが一㍍もある燈籠なので重労働だ。コンテスト形式で各部門には金賞、銀賞、銅賞とお楽しみ賞を贈呈。小学生の部は図書券、中学生は文具券、一般は金一封で、お楽しみ賞は会員が自宅から持ち寄った品物が賞品だ。

小学生の部は四年生以上の児童が対象で、毎年夏休み前に町内でただ一つの与板小学校に参加を呼び掛ける。参加希望の子どもたちには燈籠用の紙を配布。四、五人のグループや、一人で挑戦する子もいる。夏休みに思いおもいの図案を練り、二学期が始まると会員の指導を受けて灯籠を仕上げる。今年は祭りを四日後に控えた九月十二日、色よく日焼けした子どもたちが自慢の作品を手に集まった。

会員の説明を受け、早速作業を開始。電球の仕込まれた灯籠の枠に糊を塗り、四面に絵を貼っていく。余分な紙をカットする作業に四苦八苦し、助けを求める子が多い。与板は打刃物の町として知られるが、中にはカッターを使うのは初めてという子どももいた。

昨年は銀賞をとった五年生の吉田侑矢くんは友人二人と参加。「色を付けるのが難しい。中に明かりが入るので、濃すぎるときれいにならない」と話していた。大人も顔負けの見事な浮世絵は、独創性が高く評価され金賞に輝いた。

審査を行うのは与板ライオンズクラブの会員たち。美術関係の仕事に携わるL浜田明は、「テーマを設けず自由に創作出来るのがこのコンテストのよいところ」と言う。最近はアニメやマンガのキャラクターをそのまま引き写した絵が多いと、少し残念そう。

今年は小学生四十五点、中学生二十二点、一般三十三点の計百点がまつりの夜を飾り、明かりの灯った絵燈籠の前で、家族そろって写真を撮る光景があちこちで見られた。まつりの活性化と、子どもたちの創造性の育成に一役買う絵燈籠である。

若者が叫ぶロングラン弁論大会、今年も開催。

栃木県・足利西ライオンズクラブ

■取材／砂山幹博（ルポライター）

フランシスコ・ザビエルが「日本国中で最も有名な大学」と認めたという「足利学校」を左手に眺め、しばらく真っすぐ進むと、会場の足利市民会館だ。今年も恒例の「ヤングの主張コンクール」が九月二十三日の秋分の日に行われた。

成人の日にNHKが放映していた「青年の主張」というテレビ番組を覚えているだろうか。全国から予選を通過した青年たちによる弁論大会だが、県単位で行われていたこの大会の地方予選に、足利地区から出場者を送り込もうと市教育委員会が主体となり、同じ趣旨で開催したのが「ヤングの主張コンクール」の始まりである。以来、毎年行われ、今年で四十九回目となる。

足利西ライオンズクラブ（石橋貞会長／20人）がかかわるようになったのは開催後しばらく経ってから。当時からメーンに掲げていた青少年育成事業と趣旨が合致するということで、市教育委員会とタッグを組むこととなった。コンクールの運営のほか、毎年夏休み前に市内に十ある高校や専門学校を直接訪れ、参加を呼び掛けている。

コンクールの対象は、市内在住もしくは通勤通学している十五歳から二十五歳の男女で、職業・学歴・国籍は不問。昨年は、ベトナム出身の女性が流ちょうな日本語で、難民生活の苦労と将来の夢について切々と訴え、優勝を手にしている。

今年は男性二人、女性七人の計九人。足利市内の専門学校と高校からの参加である。女性が多いのはここ最近の傾向だ。

審査は、五人の審査員によって行われる。「論旨が明確であるか」「話しぶりに熱意と迫力があるか」など十項目に点数が付けられ、合計点数が最も高かった者に優勝が与えられる。参加者らは、与えられた四分三十秒の中で思い思いに熱弁を振るった。

スピーチの内容は大きく四つのタイプに分かれた。自分の内面を見つめたもの、将来の夢、家族、そして学校での体験談だ。優勝したのは「両親のかくれた涙が教えてくれたこと」と題した家族についてのスピーチを披露した服飾・美容専門学校生の矢吹香苗さん（19）。自分を支えてくれている家族に対する感謝の気持ちを素直に言葉にした。

「人前でスピーチをする機会はあまりないから、とても良い経験でした。出場を決めたのも、こういう場を体験して自分を高めるため」とかなり前向きである。最近の若者は物分かりは良いが自己主張をしないなどと言われるが、「一概にそうも言い切れないのでは」と思わせるコンクールであった。

来年はいよいよ節目の五十回目。若い足利市民のためにも、末長く続けてもらいたいものである。

「もったいない」のマータイさんを応援しよう！
チャリティー・コンサートに市民500人。

茨城県・日立ブーケ・ライオンズクラブ

■取材／編集部

来日した際に知った「もったいない」という言葉を、国際語にしようと呼び掛けるパワフルな黒人のおばさん――昨年ノーベル平和賞を受賞したケニアのワンガリ・マータイさんだ。砂漠化が進む同国で、貧しい女性らと共に植林する「グリーン・ベルト運動」を三十年続け、植樹した苗木は三千万本に上る。

貧困の女性を動員するのは、植林活動の中で彼女たちに教育や技術を授けて、女性の地位向上を図るためだ。

このマータイさんを支援すると共に、地元の音楽家たちを広く知ってもらおうと、日立ブーケ・ライオンズクラブ（佐藤英子会長／25人）は十月二日、日立市内のホールで、「マータイさんの緑を蘇らせる運動を支援するチャリティー音楽祭」を開いた。今年三月に茨城県で二番目の女性クラブとして結成された同クラブの結成記念事業だ。熱心なPRのかいあってチケットは完売、会場には市民ら約五百人が詰めかけた。

後援の在日ケニア大使館からは、デニス・アウォリ大使が来賓として招かれ、通訳は国際線の客室乗務員の経験を持つライオン村田和華子が務めた。

コンサートは洋楽と邦楽の二部構成で、地元在住の音楽家ら約二十人がボランティアで出演した。フルートやピアノ、琴などを演奏したほか、謡と舞も披露。ブーケ（花束）らしく、多彩な内容となった。津軽三味線の若手グループ「弦悟郎」の古徳隼人さん（14）が、ソロ演奏で激しくリズムを刻むと、満員の聴衆から大きな拍手がわき起こっていた。

最後に行われた贈呈式では、佐藤会長がアウォリ大使に寄付金の目録を手渡した。アウォリ大使は「女性を教育すれば、その村全体を教育することになる」というケニアの言葉を紹介して、女性に教育の機会を与えるグリーン・ベルト運動の意義を強調。日本語で「ありがとう」と、来場者やメンバーらに感謝の気持ちを伝えた。

北茨城市から来た五十代の主婦は「安くて、たくさんのジャンルの音楽を楽しめて良かった」と満足げ。

佐藤会長は「コンサートの準備を通して、メンバー同士の理解が深まり、連帯感が生まれた」と話す。

同クラブは、老人ホームを訪れ、入居者に化粧をして生き生きとしてもらう「福祉ビユーティー・サポート」なども実施。今後も女性の視点で考え、女性ならではの奉仕活動をしてゆきたい考えだ。

Topics トピックス4

チャーター・ナイト前の一大イベントが成功。「私たちに不可能はない」

千葉県・松戸みどりライオンズクラブ

■取材／砂山幹博（ルポライター）

八月二十五日、大型の台風十一号が関東に上陸しようとしていた。千葉県松戸市の松戸市民劇場で、「日本の歳時記」と題されたチャリティー文化鑑賞会が行われたのは、そんなただならぬ状況の中でである。主催は松戸みどりライオンズクラブ。今年六月十七日に結成したばかりの出来たてほやほやの女性クラブだ。

「本当はメンバーの皆さんとあれこれコミュニケーションを図って、一緒に苦労しながら一つものを作り上げたかったのですが、何せ時間がなくて」と話すのはクラブの会長であり、今回のイベントの演出を担当したライオン望月典子。ビューティースクールを経営する傍ら、「文化イベント・コーディネーター」という肩書きで日本の伝統文化を多くの人々に伝えている。望月会長が言うように六月の結成式から行われた例会はたったの三回。出会ったばかりの会員が、二カ月後には市民を巻き込む大イベントを行おうというのだ。メンバー全員で「まずはやり通すこと」と決め、クラブ会長のリードのもと他の会員がサポートする形で挑むことになった。

プログラムは二部構成。第一部でお宮参りや七五三といった季節の装いや、結婚式や卒業式など行事の際の装いを披露。小さな子どもから年輩の方まで、各年代のモデルさんたちが舞台に上がった。昼食を挟んで行われた第二部では、「江戸のエスプリ」と形容された帯結びを望月会長自らが披露したほか、神楽の一種でおかめやひょっとこのお面を付けて踊る「笑福おどり」や、津軽小原流節といった日本の伝統芸能が演じられた。

演目は滞りなく進んでいるかのように見えたが、舞台裏は大変だったようだ。

「夕方には暴風雨になると聞き、お客さまには早く家路についてもらおうと演目を大幅にはしょりました」と、望月会長。前述した台風の接近である。「イベントは生き物。常にその時のベストを選択するから予定変更はつきもの」と話す通り、そもそも予定変更が前提なのだが、今回ばかりは、望月会長がリードするこのスタイルが吉と出た。

「メンバーの皆さんはどうなることかと不安だったのではないでしょうか。でも、一度実績を作ったわけですから何でも出来るという気分になっていると思います。実際思いますもの、私たちに不可能はないって。歳時記だけではなく、今後も文化の活性化に貢献していきたいですね」

と、望月会長は意気込みを語る。そもそもチャーター・ナイト前にこれだけ大きなイベントを行うこと自体が珍しいケース。

「ライオンズ内での話題性はもちろん、何より市民の皆さんに存在感をPR出来たのではないでしょうか」

とは、林護333－C地区前ガバナー。

「台風の目」を予感させる頼もしいクラブが誕生したものだ。なお、この日集まった収益金は、松戸市に寄付され、市の緑化活動に生かされる。

優勝めざして頑張るぞ！ 今年も熱い、千葉のボッチャ大会。

千葉県・浦安中央ライオンズクラブ

■取材／砂山幹博（ルポライター）

「ボッチャ」の大会があるというので、千葉県浦安市総合体育館にお邪魔した。開会式の二時間前、会場では浦安中央ライオンズクラブ（山家博会長／45人）の会員が忙しそうにコート作りに励んでいた。コートはバドミントンコートほどの大きさで、この体育館で取れるコートの数は十面。二日間にわたって予選リーグと決勝トーナメントが繰り広げられるというから規模の大きさが分かる。スポーツウェアに身を包んだ車いすのプレーヤーたちも続々と集まっており、大会ムードも次第に高まってきた。

ところでこのボッチャという競技をご存じない方のために簡単に説明すると、手持ちのボールを投げて（転がして）、目標ボールに近づけるゲームで、カーリングやペタンクによく似た競技。ヨーロッパで生まれ、一九八八年のソウル・パラリンピックで公式競技に採用されている。日本では、重度脳性まひの方のスポーツとして九六年に千葉ボッチャ選手権大会が開催されたのが始まり。九九年には、日本ボッチャ協会が発足、全国大会も開催されるようになった。ボールを投げることが出来なくても、すべり台のような補助具を使い、自分の意思を介護者に伝えることが出来れば誰でも楽しめるスポーツである。

開会式の後、早速試合が始まった。競技種目は障害の度合いに合わせて四つのクラスに分けられており、選手には車いすを必要としない障害者の方も含まれる。この四つにリハビリを兼ねての参加者を含むオープンクラスを加えた五つのカテゴリーで選手たちは競い合う。選手のほとんどが地元でボッチャクラブなどに所属しているとあって、大会は日ごろの練習の成果を発揮する場でもある。

国内ボッチャ発祥の地で行われる大会も今回で十回目。第二回大会から活動資金や用具援助の面で協力してきた浦安中央ライオンズクラブのライオン中台保は感慨深げに話す。

「スポーツの経験のない多くの障害者の方は、最初下を向いて会場に入って来ます。ところが、競技が終わる頃には皆表情が生き生き。リピーターも多く、競技レベルも年々高くなっています」

参加者を虜にするゲームであることは分かったが、その面白さを探るために試しにゲームをやらせてもらうことに。

テニスボール大の自玉をコート内にある目標ボールに投げ入れてみたが、これがなかなか思った所に行かない。手持ちの六つの玉のうち一つでも目標ボールに近ければ勝ちなのだが、目標ボールそのものが動いてしまうと一気に形勢が逆転する。

「これは戦略ゲームなんです。だから障害の有無にかかわらず熱中出来るのです」と、ライオン中台が教えてくださった。

Topics トピックス6

子どもたちの笑顔を育てる「きっず・ふぁ～む」。

群馬県・太田ライオンズクラブ

■取材／編集部

太田ライオンズクラブ（板橋輝雄会長／48人）の主催する「きっず・ふぁ～む」は子どもたちの体験農場。ジャガイモ、サツマイモ、スイカ、メロン、トマト、ブロッコリー、米など、年間を通じてさまざまな作物が収穫される。「楽なアクティビティじゃないですよ」と板橋会長。そりゃそうでしょう。敷地面積千坪もあるっていうんだから。メンバーたちの作業は耕作、畝作りから始まり、草取り、追肥と地道でハード。それを月平均二回ずつこなしてきたのは、やはり手ごたえがあるからだ。

きっず・ふぁ～むがスタートしたのは五年前。当時の関口明彦会長の「ハンディキャップを持った子と健常の子、みんなで一緒に作物を育て、苦労や収穫の喜びを共有し、感謝の心を養おう」という会長方針だった。太田市に主旨と計画を申し出ると、快諾し、土地を無償提供してくれた。更に、太田農業振興公社、つまり本職農家に農業を教える先生が、指導に当たってくれることになった。毎年三月にその年度の副会長が、指導員と相談して年間の作業計画を練る。苗の目利きも教えてくれる。だから、きっず・ふぁ～むの収穫物は高品質。どこに出しても自慢出来る。

年度初めの七月が「きっず・ふぁ～む発足式」。今年は一般の太田ガールスカウトと、太田ボーイスカウトの障害がある子どもたちのグループ、そして障害や両親と暮らすことが出来ない事情がある子どもたち約二百五十人が参加した。開始当初の数倍だ。今後苗の植え付けや収穫などの農業のハイライトに集う。

自分たちの手で一生懸命植えた苗が、見事に育って収穫を迎えた時の、子どもたちの誇らしげで喜びにあふれた表情が、メンバーたちに辛い作業を来年も続けようと決心させる原動力となる。まるまると大きなスイカにコアラのように両手両足で抱きつく男の子。黄金色の稲の束を花束のごとく抱える女の子。黒く温かな土から鮮やかな紫色の芋を丁寧に掘り出したり、土に生えている意外な姿のブロッコリーに目を見張ったり。

「私たちは『豊かな生活』を送りながら、多くのことに鈍感になってる。子どもたちもテレビやゲームのバーチャル体験に偏りがち。だから作物の育成と収穫を通じて地球の大切さを肌で感じ、個々が一人でも出来るところから環境を守り、『よりよき生活』とは何かを希求していけたらいいと思うんです」。そう言いながら、実は自分も農業初体験だったと板橋会長は笑う。だからこそ、ふぁ～むの意義を自身の内側から実感したのだろう。

来る十月十六日、収穫感謝祭が開かれる。モチ米とふつうのお米、そしてサツマイモの収穫と、もちつき大会と芋煮会が予定されている。中でも一番の豊作は、やはり子どもたちの笑顔に決まっている。

ふるさと探訪

千葉県 松戸

二十世紀梨のルーツは矢切の渡しで知られる江戸川沿いの街

■取材／編集部

矢切の渡しと野菊の墓

松戸市は千葉県北西部、これより更に西は江戸川を挟んで東京都と埼玉県になる。古くは水戸街道の宿場町として、現在は東京のベッドタウンとして知られる。江戸川には、細川たかしのレコード大賞受賞曲でも知られる「矢切の渡し」がある。

矢切の渡しは、松戸市の矢切と東京都葛飾区の柴又とを結ぶ。江戸初期、利根川水系河川の街道筋十五カ所に徳川幕府が設けた渡し場のうちの一つ。現在、東京近辺で定期的に運航されている渡しは、この矢切の渡しだけになってしまった。

対岸の柴又側にある船着き場は、寅さんでお馴染み帝釈天の裏手にあたり、観光客も結構、渡し船に乗りに来る。そういう人たちは渡し船そのものが目的らしく、矢切側に着いても船からは降りず、そのまま柴又へ帰って行く。

確かに、矢切の船着き場を上がっても、河川敷のゴルフ場以外何もない。河川敷の土手の向こうも、あるのは一面のネギ畑だけ。が、この矢切は伊藤左千夫の小説「野菊の墓」の舞台となった場所でもあり、船着き場から歩いて二十分ほどの西蓮寺の境内に、その文学碑が建っている（別掲コラム）。

❶矢切の渡し。元旦から一月中旬と三月中旬から十一月いっぱいは毎日、それ以外は土日・祝日のみの運航となる。渡し賃は大人百円
❷❸白玉粉はもち米を水洗いして石うすで水びきし、沈殿したものを乾燥させて作る。❷は水びきで出来た乳液。❸は乳液を圧縮して出来た米ケーキ。これを細かく切って乾燥させれば白玉粉となる
❹川光物産(www.kawamitsu.co.jp)の白玉関連商品。このほか上新粉や片栗粉、きな粉など、多くの粉製品を製造している
❺白玉は甘味には欠かせない
❻川光物産の飯塚平八郎取締役は松戸ライオンズクラブチャーター・メンバー。松戸工場ショールームで

白玉粉日本一

知る人ぞ知る松戸の名産の一つに白玉粉がある。全国シェア三〇パーセントを占め、日本一の生産高を誇る。

松戸駅にほど近い旧水戸街道沿いに本社がある川光物産は、玉三のブランドで知られる古くからの白玉粉メーカーだ。もともとは米問屋であったが、得意先の一つの廃業に伴い「玉三」の商標と共に会社を継承、白玉粉の製造にも乗り出した。

白玉粉は中国・朝鮮から渡来し、平安・室町貴族に愛用された。庶民に食されるようになったのは江戸期に入ってからで、「玉三」の玉屋三次郎は元禄時代に白玉粉の製造を始めたという。白玉粉の原料はもち米だが、江戸川流域で古くから良質なもち米が作られていたことから、松戸での白玉粉作りが始まった。

よく江戸を舞台にした落語などで、白玉売りが出てくる。白玉を水桶に浮

かべ、一椀四文で砂糖をかけて売った。江戸っ子はトコロテンや白玉が大好物で、白玉売りを見かけたら前を素通り出来ないほどだったらしく、白玉はまさに江戸の夏の風物詩だったようだ。

今ももちろん、氷白玉など江戸時代と同じような食べ方もあるが、ぜんざいやみつめなどの甘味類、更には大福や求肥等、和菓子の材料として幅広く使われている。また最近では即席白玉や冷凍白玉など、手軽に食べられるものも製造されている。

二十世紀梨発祥の地

松戸市の東郊、二十世紀が丘として区画整理がされ住宅地となっている丘陵地の一角に「二十世紀梨原木記念碑」がある。二十世紀梨というと鳥取県の名産として知られるが、実はその原木は松戸で芽生え、育成されたものだったのだ。

一八八八年(明治二十一年)、松戸覚之助という少年が、近所のゴミ捨て場で二本の梨の苗木を拾った。少年の父は松戸で梨園を経営しており、その苗木は虚弱だということで捨てたものだったらしい。

苗木を家に持ち帰った少年は、見よう見まねで木を育て始めた。が、父が一度は捨てただけあって、病気にかかりやすく、果実もよく実らなか

●野菊の墓文学碑

伊藤左千夫の処女小説『野菊の墓』は一九〇六年（明治三十九年）に、俳誌『ホトトギス』に発表された。『ホトトギス』はもともと正岡子規が始めたものだが、子規の没後、高浜虚子が引き継いでいた。『野菊の墓』は、やはり『ホトトギス』に発表した『我が輩は猫である』で空前の大ヒットを飛ばした、夏目漱石から「自然で、淡泊で、可哀想で、美しくて、野趣があって（中略）あんな小説ならば何百ぺん読んでもよろしい」と称賛された。小説の舞台となったのは松戸市矢切周辺で、同市松戸市下矢切の西蓮寺境内に、その文学碑が建っている。

った。それでもあきらめずにさまざまな肥料を施しながら育てたところ、なんと十年目になって、ようやく成熟梨が実ったという。

恐る恐る食べてみると、心地よい甘みと水分を持った素晴らしい味だった。しかも、それまでの梨に比べ芯が小さく果肉が多い。これはすごいと大騒ぎとなり、青梨新太白の名で売り出された。

その後、一九〇四年（明治三十七年）、東大助教授らが、「これぞ二十世紀最高傑作」として二十世紀梨と命名。それが、鳥取を始め全国に広がっていったのだという。

二十世紀梨の原木は三五年（昭和十年）に国の天然記念物に指定されたが、四四年に本土空襲で焼夷弾にやられ、残念ながら四七年に枯れてしまった。枯れ木はその後、保存処理され、松戸市博物館に保管されている。

現在も松戸や市川、鎌ケ谷など東葛飾地方には梨園が多い。栽培しているのは主に幸水や豊水だが、いずれも二十世紀梨を片親として生まれたもので、二十世紀梨は進化しながら、今もルーツ松戸で生き続けている。

❼松戸には約七十軒の観光梨園があり、収穫期は多くの人で賑わう ❽松戸市金ケ作の小暮梨園（ライオン小暮一政／松戸ユーカリ・ライオンズクラブ：TEL〇四七・三八七・三二六七）。ライオン小暮は「梨は病気に弱いため非常に手間がかかり、収穫まで気が抜けませんが、それだけ愛情を込めて育てているので、味には自信があります」と胸を張る ❾松戸は近郊農業も盛ん。同市中金杉の高橋農園（ライオン高橋昌男／松戸ユーカリ・ライオンズクラブ：www.takahashi-farm.gr.jp）では枝豆やトウモロコシのオーナー制度を設けるなど、ユニークな経営で知られる。写真はイチゴの収穫だが、特別な容器を使い完熟状態で出荷するよう工夫を凝らしている

七つのライオンズクラブ

松戸市内には、一九六四年、市川ライオンズクラブのスポンサーで結成された松戸ライオンズクラブ（高橋卓志会長／40人）を始め、松戸中央（植木真澄会長／28人：七七年結成、スポンサー・松戸）、松戸東（箕輪信治会長／30人：八一年結成、スポンサー・松戸中央）、松戸ユーカリ（伊原正行会長／24人：八五年結成、スポンサー・松戸）、松戸南（堀内茂希会長／24人：九一年結成、スポンサー・松戸東）、松戸グリーン（森田等会長／21人：九五年結成、スポンサー・松戸）、松戸みどり（望月典子会長／26人：二〇〇五年結成、スポンサー・松戸グリーン）の七クラブがある。

このうち、最も古い松戸ライオンズクラブは昨年度、結成四十周年を迎え、地区ガバナー（ライオン林護）も輩出。この十月二十七日には、千回記念例会を開催。

また、今年度は松戸ユーカリ・ライオンズクラブが結成二十周年を迎え、十月二十三日に記念式典を開催。七月二十三、二十四の両日には記念事業の一つとして松戸市立小金北中学校で記念樹剪定作業を実施。このほかマレーシアの姉妹クラブを通じての青少年育成基金などの事業を行った。

■松戸ユーカリ・ライオンズクラブと川光物産のライオン飯塚平八郎から読者プレゼントがあります（65ページ）。

イラストマップ／小川和政

新潟県出雲崎町
清貧に生きた良寛禅師のふるさとは、妻入りの町並みに天領の歴史をとどめる海辺の町

■取材：編集部／切画：風祭竜二

晴れた日には佐渡の島影を浮かべる日本海と、海岸近くまで迫る山地の間に、出雲崎の町はある。町はひっそりとした佇まいで、海辺に細長く伸びている。かつては北国街道の宿駅として、また江戸時代には佐渡の金銀の荷揚港として大いに栄えた。人も物も過密なほどに集中した当時の面影は、三・六㎞にわたって連なる妻入りの町並みに見ることが出来る。

　高台から町を見下ろすと、旧街道を挟んで細長い屋根が幾重にも重なっている。幕府直轄の天領だった出雲崎は、間口の広さによって税金が徴収されたため、家々は妻入りの様式で間口が狭く、奥行きのある作りになった。昭和四十年ごろに海岸を埋め立てて国道が通ったが、それまで海に面した家々は、裏口がそのまま浜へ通じていたと言う。今、通りの海側には民宿が多く、日本海の眺めとおいしい魚料理を自慢にしている。また、新鮮な魚介を炭火焼きする「浜焼き」の店もあって、香ばしいにおいが浜町らしい風情を感じさせる。

　この旧街道の中ほどに、日本海を背にして建つ良寛堂がある。良寛の生家橘屋の屋敷跡だ。その遺徳を偲ぼうと郷土史家の佐藤耐雪が発案し、大正十一年に建てられた。堂内の多宝塔には、良寛が常に持ち歩き、昼寝の時には枕にして寝たという小さな石地蔵がはめ込んである。良寛堂は、母のぶの生まれた佐渡を背景に、海に浮かんで見えるように建っている。

旧街道は細く、町の境目で鍵型に曲がりながら続いている

「たらちねの母が形見と朝夕に佐渡の島べをうち見つるかも」

歌に込められた思いをそのままに、堂の裏手では、良寛の座像が母の国佐渡を見つめている。

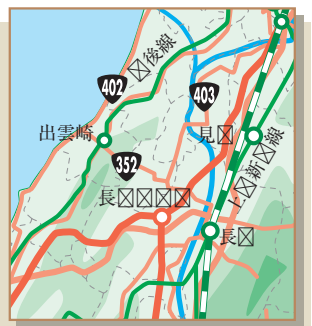
妻入りの町並みには、間口三間ばかりの家が連なるが、良寛堂の敷地は他の家々に比べてかなり広い。屋敷のあった当時は更にこの二倍もあったと言われ、橘屋山本家の繁栄ぶりがうかがえる。良寛は江戸時代も終わりに近い宝暦八年（一七五八年）、代々出雲崎の名主と神官を務める家に、長男として生まれた。良寛堂の脇には、父以南の句碑もある。文人肌で、世事には疎い人物だったとされる。良寛が生まれたころ、橘屋は隣町の尼瀬の名主との権力争いによって衰退の兆しが見えていた。出家した良寛に代わり跡を継いだ弟由之の代で、町民との争いの末に追放処分となり、没落している。

良寛の心を映すように質朴な佇まいの良寛堂

旧街道を歩くと、山手にたくさんの寺社が並んでいるのに気づく。天領として栄えた名残だろう。町の規模にしては驚くほど多い。良寛堂から少し行くと、橘屋が神官を務めた石井神社、その菩提寺だった円明院があり、更に進むと良寛が剃髪したと伝わる光照寺がある。路地を入ったところに四つの小さな寺院が集まっていて、いちばん奥の階段の上が光照寺だ。父の後継者となるはずだった良寛がこの寺に入ったのは、十八歳の時。その後、寺を訪れた玉島円通寺の国仙和尚について得度し、修行の道へ進んだと伝えられる。

光照寺の本堂脇には良寛の「出家の歌」碑が建つ

妻入りの町並みと日本海を見下ろす高台には良寛記念館があり、良寛の遺した書や遺品を展示している。そのすぐ隣にある「良寛と夕陽の丘公園」からは、海岸線に寄り添うような町並みと、日本海が一望出来る。佐渡の島影と、日本海に沈む夕陽が美しい。ここには良寛と子どもたちの像があり、托鉢の途中、子どもたちと手鞠で遊んだという逸話を彷彿させる。

出雲崎にはほかに、天領として栄えた当時の様子を再現した道の駅・天領の里記念館もある。また周辺には、良寛が最晩年を過ごした和島村や、緑の深い与板町、分水町、寺泊町などがあり、慈愛に満ち、清貧を貫いて民衆の中で生きた禅僧の足跡を辿ることが出来る。

アクセス

JR越後線出雲崎駅（新潟から特急で約一時間半）からバス。車なら北陸自動車道西山IC利用。

周辺クラブ

出雲崎ライオンズクラブ（矢川正敏会長／46人）は一九六八年、柏崎ライオンズクラブのスポンサーで結成された。今年度「良寛の心で奉仕のライオンズ」の会長テーマの下に活動。月一、二回の独り暮らし高齢者宅への給食宅配ボランティアは十三年前から続けている。また同じ郡内にある寺泊、与板の両クラブとはゾーンを超えた交流を結び、持ち回りで年一回の会合を開き、ホストを務める町の社会福祉協議会へ寄付金を贈っている。

■出雲崎ライオンズクラブ、切画の風祭竜二氏から読者プレゼントがあります（65ページ）。

群馬県笠懸町
上州名物空っ風と冬の風物詩・干し大根

■写真と文：編集部

生品神社の境内にずらっと並べられた干し大根

十年ほど前、笠懸町で不思議な光景に出合った。阿左美地区にある生品神社境内のあちこちに、大根がたくさん吊るされていたのだ。

明らかに干しているのだろうが、どうも大根を干すイメージとはほど遠い。第一、なぜ神社？

そう思って近所の人に聞いてみたら、風通しが良く、雨よけになる木が多いため、近くの農家が場所決めをして干しているのだと言っていた。日陰で干し上げることで、色が変わらず、真っ白い干し大根が出来上がるらしい。

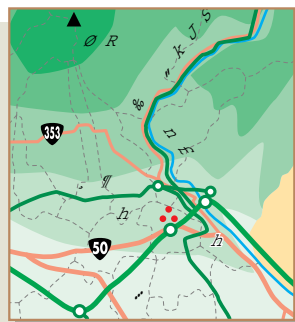
この笠懸町は干し大根の産地として古くから知られている。渡良瀬川の扇状地に出来た土地だけに、肥沃な土壌が質のいい大根を育てる。また、かかあ天下と共に、上州名物となっている冷たく乾いた空っ風が、干し大根にうってつけだったのだ。

特に同町鹿地区では、初冬になると畑や屋敷の周囲に櫓が組まれ、大量の大根が干される。白い大根が、赤城山をバックに干された図は、笠懸の冬の風物詩となり、テレビでも季節のニュースとして、よく取り上げられるようだ。

表紙の写真も、この鹿地区で撮った。青と白、緑の取り合わせがきれいだった。

朝、引き抜かれた大根は、すぐに洗われ、干場に吊るされる。十日ほど干して、太さが半分、重さが三分の一ぐらいになったところで出荷される。タクワンに適した大根は晩秋から初冬にとる、いわゆる秋大根のうちでも、晩生に属するものがいいそうだ。そのため十一月中旬から十二月中旬まで、約一カ月が勝負となる。

ところで、この辺りには生品神社という名前の神社が、干し大根の生品神社以外にもいくつかある。中でも有名なのが、旧新田町（現太田市）の生品神社。

社歴は古く、平安時代に編集された『上野国神名帳』にその名が記されている。新田義貞が、この生品神社の社前において、鎌倉幕府打倒の旗挙げをしたと伝えられており、毎年五月八日には、白い着物に袴姿の地元小学生十数人が、鎌倉の方に向かって一斉に矢を放つ鏑矢祭が行われる。（鈴）

観光一口メモ

笠懸町には、日本の歴史を書き換えた岩宿遺跡（日本列島に縄文時代以前には人類が住んでいないとされていた定説を覆した）がある。また、そのそばにはカタクリの群生地もある。見ごろは三月下旬から四月上旬。

アクセス

関越自動車道・前橋IC、もしくは東北自動車道・佐野藤岡ICで下り、国道五〇号線を利用。電車ではJR両毛線岩宿駅下車。

周辺クラブ

笠懸町には一九八二年、桐生東ライオンズクラブのスポンサーで誕生した笠懸ライオンズクラブがある。現在、献血、献眼登録、薬物乱用防止啓蒙運動、スポーツ少年団へのアクティビティなどを実施している。

Executive Officers Message

執行役員メッセージ

前国際会長／
LCIF理事長
クレメント・F・
クジアク

読書家は良きリーダー

「読書家は良きリーダーである」。この古い格言は、真実ゆえ現代にも通用します。もし皆さんが知識や情報を持っていなければ、状況を把握し、社会への貢献を果たすことは不可能でしょう。ライオンズは奉仕におけるリーダーです。誇りを持って、地域における奉仕事業の最前線に立って能力を発揮すべきです。

私は皆さんに、良き読書家、良きリーダーになるようお願いします。『ライオン』誌のLCIF記事を読んでください。「LCIF Update」や「Sight First Update」が最新情報を伝えます。また公式ウェブサイト（www. lionsclubs.org）では、情報豊富な視力ファースト年次報告『プロフィール』もダウンロード出来ます。ウェブサイトではほかにも、多くの情報が得られます。特に、視力ファースト・キャンペーンⅡ（CSFⅡ）の文書や記事には注目してください。

LCIFへの理解を深めるのに有効なCD-ROMも頒布しております。CSFⅡの背景や交付金、献金の情報、LCIF事業の内容が収録されています。是非ご利用ください。

「知は力なり」。ライオンズにとって力とは奉仕です。私は皆さんが熱心な読者となり、我が協会が人道主義奉仕のリーダーの座にあり続けるよう支援してくれることを望んでやみません。

国際第1副会長
ジミー・M・ロス

視力ファースト：我々が出した答え

80年前、ヘレン・ケラーはライオンズに「盲人のために暗闇と戦う騎士に」と訴えました。我々はその難問に挑み、今日では視力保護と視覚障害者支援の分野の活動で、先頭に立つ奉仕組織として認識されています。我々は今年の香港国際大会でCSFⅡを始動させ、更に大きな一歩を踏み出しました。今後3年間の我々の目標は、少なくとも1億5,000万⊠、挑戦的目標として更に5,000万⊠の資金調達です。この目標を成し遂げることで、予防可能あるいは回復可能な失明の根絶という挑戦に、成功を収めることが出来るでしょう。

視力ファーストでは、何百万人もの人々が白内障の手術を受け、トラコーマや河川失明症、糖尿病性網膜症、その他眼病の処置を受けています。これは偉大な奉仕の記録であり、「ウィ・サーブ」の伝統を受け継ぎ、メータ国際会長のテーマ「飛躍への情熱」の顕著な例でもあります。我われが乗り出した資金調達運動によって、ライオンズはヘレン・ケラーから託された精神を、より深く遂行することが出来るでしょう。

どうか皆さん、CSFIIへの協力がいかに重要かを理解し、支援してください。助けを必要とするより多くの人々が、視力という貴重な贈り物を受け取れるように。

国際第2副会長
マヘンドラ・
アマラスリヤ

成長への貢献

会員として、我々はクラブと地域に対して数々の責任を負います。その中でも最も重要なことは、援助を求める人々の要請にこたえるため、個々のクラブを強化することです。それには、質の高い人材を招き入れ、会員増強を図ることが必要です。会員増強は、ライオンズクラブ国際協会が世界最大にして最も活動的な奉仕クラブ組織であり続けることが出来るかどうかの、非常に重要な問題です。

今年度、メータ国際会長は、「プラス1」を提唱されました。すなわち、すべてのクラブが少なくとも会員1人の純増、すべての地区が少なくとも1クラブの純増を果たそうというものです。これには全会員の参加が不可欠であり、その達成こそが「発展への情熱」を推進することでもあります。

皆さんの地域で、地域社会のために自らの可能性を捧げてくれる人を見つけてください。彼らに、自らのクラブ、そして世界中のライオンズの活動について話してください。そして、会員になるよう要請するのです。更に地区レベルで指導的役職にある皆さんは、新クラブ結成のために力を尽くしてください。もし、すべてのライオンズがその決意を固めれば、「プラス・ワン」の実現は、間違いありません。

日本ライオンズの交付金事業例

ライオンズ - クエスト・プログラムの拡大事業

●330-B地区、330-C地区●

四大交付金交付額：100,000ドル　事業完了日：2005年6月30日

ワークショップには各地の会員も参加。写真は札幌のライオン秋庭一富（右端）と高知のライオン山本恵子（右から2番目）

入念に手を掛けた教材改訂作業

330・B、330・C地区による「ライオンズ・クエスト・プログラムの拡大事業」は、330複合地区が先行して行っていたパイロット事業を引き継ぐ形でスタートした。日本の学校や地域社会において同プログラムの必要性や有効性に対する認識をより高め、一校でも多くの学校での実施を実現するという目的で三カ年にわたる事業が行われた。

330複合地区の先行事業とは、幼稚園から高校生向けまであるライオンズ・クエスト・プログラムの中から、中学生を対象とした「思春期のライフスキル教育」の翻訳・日本語版教材開発と、日本人講師の養成、埼玉県川口市立芝東中学校でのパイロット授業。

この教材開発を引き継ぎ、パイロット授業での先生たちの体験を可能な限り教材に盛り込んでいったのが教材改定作業である。この時、問題になったのが翻訳語。そもそもアメリカで作られたプログラムなので、言葉のニュアンスが日本の教育事情と合わない部分が散見された。そこで日本語版開発にかかわった先生たちにプログラムの理解を広め、将来的にLCIF講師もしくは教材改訂者になってもらうことを考えて、現職教師八人によるアメリカ研修及び学校視察を実施した。

その中の六人が教材改訂グループを結成。全部で七十七ある授業のうち、使用頻度の高い三十八授業について「指導案」を完成させた。

「日米の文化や教育事情の違いから、単なる翻訳では教育現場で使う際に違和感が生じる。用語の改訂だけでなく先生たちの使い勝手を考えて、再度、改訂グループを中心に教材をとらえ直しました」と話すのは、日本での同プログラムのLCIF認定実施団体・青少年育成支援フォーラム（JIYD）副理事長、ライオン中雄雄政幸（東京愛宕ライオンズクラブ）。

カリキュラム本体はもとより、生徒用のワークシート、教師用プログラム概要書、保護者用副読本や保護者会運営手引書など、教材一式を見直して使いやすいものにしたことは、教師の負担を軽減するのみならず、学校・生徒、保護者、地域との連携を強化し、このプログラムを使った教育の成果を高めることになるものと期待される。

LCIF認定講師の増員とワークショップ

アメリカ研修では、現職教師二人が三日間のライオンズ・クエスト・ワークショップに参加、将来の講師候補者となっている。三年間の拡大事業の中では、半年間に及ぶ研修・訓練を経て三人の認定講師を追加養成し、ワークショップ、体験会・説明会を広範囲に、より頻繁に行えるようになったことは、プログラム普及の大きな推進力となった。

教材の改訂・講師の養成を柱の一本とするならば、もう一本は普及活

川口市立芝東中学校では全学年の総合学習の時間で取り上げ、大きな効果を上げている

動だ。具体策は、330・B、330・C地区の教師を主な対象としてワークショップを開催し、プログラムを授業で使ってくれる教師の数を増やすことである。

十九回開催したワークショップには、三十四都道府県から教師、ライオンズ・メンバーなど青少年育成団体関係者三百八十人の受講者があった。これにはライオン中雄も驚きを隠せなかったと言う。

「予想以上の反響でした。埼玉、神奈川以外、日本各地から受講者が集まりました。公務出張ではなく、自費で来られる教師も大勢いらっしゃいました」

一回のワークショップに平均二十人が参加したことになる。芝東中学校に始まったライオンズ・クエスト授業の実施校は、全国で二十六校となり、授業を受けた生徒は、累計八千八百九十二人と推定される。

とりわけ330・C地区では、「全校・全学級」でライオンズ・クエスト授業を実施する学校が三校出来た。これには、地元教育委員会や母校・保護者会への訪問説明など、資金提供を超えたライオンズの地道な活動が大いに貢献している。

ワークショップに参加経験のある教師を対象に、フォローアップ・ワークショップも用意されている

文科省推薦プログラムに クエストの効果を証明

今後ライオンズ・クエストの拡大を目指す上で、こうした実績も大きいが、プログラムの効果を証明する意味では、正当な「評価」が成されていることが不可欠である。

パイロット校となった芝東中学校の全校生徒を対象に、二〇〇四年三月、専門家による無記名・自己記入式の質問調査が行われた。有効回答数は五百十六人。まず、プログラムの有効性を調べるために三年間クエスト授業を受けた中学三年生と、全然受けていない三年生の回答を比較した。結果、両者の間に大きな違いが現れた。特に女子に、プログラムがセルフエスティーム（自尊心）や社会的スキルを高め、喫煙、飲酒、薬物乱用など「問題行動」を抑止し、「向社会性」を増大させる可能性が示された。

こうした成果を踏まえて、文部科学省は同省の「総合的な学習の時間」応援団というホームページに、ライオンズ・クエストを同省推薦プログラムとして掲載している。

ライオンズ・クエストはLCIF四大交付金優先事業にも指定されており、国際プログラムとしても重要視されている。国内他地区への拡大のモデルケースとしても、この事業が果たした役割は計り知れない。

砂山幹博（ルポライター）

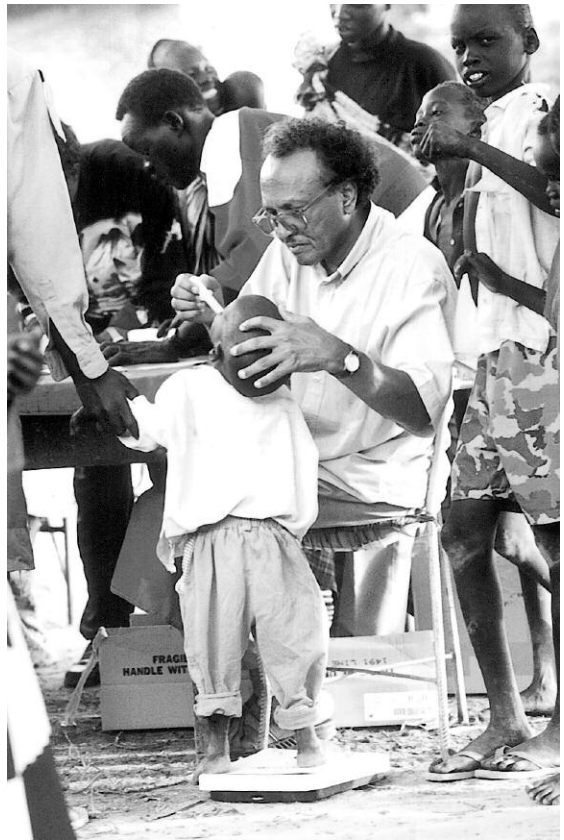
もっと知ろう！ライオンズ

分かりやすい国際プログラム

盲人のための騎士として ライオンズの挑戦第2段階 CSFII

香港国際大会で幕を開けた視力ファースト・キャンペーンⅡ（CSFⅡ）。各地区やクラブの重点目標にもCSFⅡという言葉が盛り込まれ、本誌を始めあちこちで目にするようになっていることだろう。そこで、今一度CSFⅡについて検証し、誇りを持ってキャンペーンに取り組んで頂きたい。

「盲人のための騎士」として

「盲人のために、暗闇と戦う騎士となってください」。ライオンズクラブの視力保護に関する精力的な活動は、この一言から始まった。世界中のだれもが知る、三重苦の聖女・ヘレン・ケラーが、一九二五年の国際大会でライオンズに呼び掛けたものである。以来ライオンズは、その使命のために戦い続けてきた。

視力ファースト

そして一九九〇年。戦いは視力ファーストのスタートにより新たなステージを迎えた。すなわち、単一クラブや地域での活動だけではなく、世界的規模で予防あるいは回復可能な失明を根絶するためのプログラムを立ち上げたのだ。その資金獲得活動であるCSFⅠでは世界中から一億四千三百万㌦が集まり、事業は素晴らしい功績を挙げた（左表参照）。

CSFⅡ

大きな成果を挙げた視力ファーストだったが、十五年間を経て、基金が底をつき掛けてきた。基金がなくなると同時に活動を終了して良いのだろうか。もし、ライオンズがこの活動から手を引けば、現在世界に三千四百万人いる失明者は、二〇二〇年までに七千万人に倍増するという試算もある。当然、ライオンズは失明との戦いを続けることを決断。必要な資金を確保するために、CSFⅡの幕開けとなった。

CSFⅡの目標

CSFⅡでは、これまでの視力ファーストを継続・拡大するために、三年間のキャンペーンで少なくとも一億五千万㌦を集めることを目標にしている。これにより左表の目標一、二が実施される。更なるチャレンジ目標が二億㌦だ。日本ライオンズは三年間で一人当たり四百五㌦以上という募金目標を掲げ、達成を目指す。しかしこれは単に会員のポケット・マネーからの拠出というだけではない。ライオンズ以外の人々にも、ライオンズの誇るべき視力ファースト・プログラムを紹介し、賛同と協力を得ることが期待されている。CSFⅡは資金とシンパ獲得キャンペ

ーンとも言えよう。世界中の人々と共に失明根絶を目指したい。

CSFⅡの献金者表彰

三百～十万？以上の献金をした個人及び企業は、金額ごとに六段階の表彰レベルから成る「ヘレン・ケラー・サークル・オブ・ホープ」として表彰される。会員一人当たり百～千？以上の献金をしたクラブには、五つのレベルの表彰が用意されている。また、CSFⅡへの指定献金はメルビン・ジョーンズ・フェロー（MJF）の対象として認められている。

詳細については、ライオンズクラブ国際協会の公式ウェブサイト（www.lionsclubs.org）のCSFⅡのページをご覧頂きたい。

視力ファースト

過去15年間の交付金　1億7,400万？
（86カ国／724事業）

項目	実績
視力喪失を予防	2,400万人
河川失明症の処置	6,500万件
白内障患者の視力回復	460万人
視力ケア・サービスの向上	数億人
眼科病院建設・拡張	258件
眼科センター設備改善	300件
眼科医・看護師等の訓練	68,000人
小児眼科センター設立	30件

CSFⅡの目標

目標１　失明の主因抑制・撲滅

- 白内障、糖尿病性網膜症、緑内障の抑制
- 世界200カ所で眼科診療所開設
- トラコーマ撲滅。被害の多い10カ国で4,000万人治療
- 7,000万人に河川失明症治療

目標２　新たな脅威との戦い

- 弱視者への奉仕強化
- 回避可能な小児失明の撲滅
- 子どもの屈折障害に対するアプローチ
- 糖尿病性網膜症、緑内障を始め加齢性眼病の早期発見

チャレンジ目標「視力をすべての人に」

- 失明者のためのリハビリと教育支援
- ライオンズ眼科病院での研究資金
- 先進国における視力プログラムの充実

ライオンズクラブ国際協会CSFⅡ日本事務局
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-1-1
パレスビル805
TEL：03-3282-7553／FAX：03-3282-7564
Email：csf2japan@apost.plala.or.jp

題字／君塚 一雄（千葉県・房総勝浦）

（応募要領→57ページ）

●獅子吼（ししく）
①仏が説法するのを、獅子が吼えて百獣を恐れさせる威力にたとえていう語。
②大いに熱弁をふるうこと。（広辞苑）

パスポート

高田 昌夫（北海道・札幌はまなす）

三十八年前、北欧に農業実習の長期研修に行った。フィンランドに二年少々、イギリスに四カ月滞在、その後ヨーロッパ各地を旅した。その旅先、ユーゴスラビアからイタリアに入国する国境で事件は起きた。国際列車の個室には四人の人がいた。私は衣服の内ポケットにパスポートを入れて壁にもたれ、頭をつけてすごく注意深くしていた。が、列車に国境の役人が入って来て目が覚めた。四人のうち二人が個室にいない。パスポート検査に来たのは、ジェームス・ボンドのようなすごく目の大きい警察と三人の助手。パスポートはない。眠っている間に誰かが盗んだのは確かである。最悪の場合、国境で列車から降りてもらうかも知れないとのこと。時計は夜中の十二時を過ぎていた。私は時間がある旅なので、まあ良い経験だと思った。警察は最善を尽くすからと言ってくれた。

十五分ぐらい経って助手が列車のトイレに行った。そのトイレのゴミ箱の中から私のパスポートが出てきたのである。パスポート・ケースに入れていた十?はないが、窓から捨てられないで良かった。無事イタリアに入国することが出来た。旅行者はまず、ゴミ箱を調べることが必要と、勉強になった。

私は現在、中国の昆明で仕事をしているが、ここでもトラブル発生。日本の仲間が入国後、上海から雲南省に行く際である。中国では外国人は、国内線でも必ずパスポートを見せるのだが、彼は入国したのでパスポートをトランクに入れて、荷物と一緒に出してしまっていた。当然このままだと飛行機に乗れない。すぐカウンターに行き、飛行機から荷物を降ろしてもらうように頼んだ。出発時間は過ぎていたが、係りの人がなんとかやってくれて、雲南省に行くことが出来た。パスポートは必ず身につけていることが重要である。

またもや中国・昆明での事件。日本で十年ぐらい生活をしている、中国人通訳の彼が起こした。ホテルから空港まで乗ったタクシーに、セカンド・バッグを置いたまま降りてしまった。空港カウンターで気がついたが、もちろんタクシーはいない。パスポートの再発行は三カ月ぐらい掛かるという。日本での仕事は出来なくなるし、会社もクビになる。真っ青になって、朝八時から警察、公安、タクシー会社を回った。もう出てこないと諦めかけた夕方五時ごろである。私の会社に電話があった。タクシー会社の運転手が退社する際に会社に届けてくれたのである。このことは昆明のラジオ・ニュースにも流れた。「本日良いニュースがあります」と、事件のいきさつと善良な運転手が紹介された。パスポートは重要なものである。いつも身につけておいた方が良い。

つい先日の事件は、北海道・市場協会の視察観光旅行で起きた。世界文化遺産になっている雲南省・麗江でのこと。メンバーの一人がやはりセカンド・バッグに入れたパスポートを観光地の雪山に忘れた。五千四百?以上の山で、三千?ぐらいまでリフトで登ることが出来る。そのリフトの終点にバッグを忘れ、下山してしまった。すぐ全員でリフトに乗ってパスポート探しである。この辺りは雲南少数民族・ナシ族が居住する、とても貧しい地域である。多分中身を取って不要なものはゴミ箱に捨てるだろうと考えた。しかし、どこを探してもない。地元のガイドさんが警察に連絡をして、パトカー二台が山に来てくれた。最悪、他の人は帰国して、私と本人が残る覚悟は出来ていた。しかし、幸運にもナシ族の老婆が持っていてくれた。お土産売りのその老婆に感謝し、また一生懸命努力してくれた若いガイドに感謝である。多少のお礼をして、彼らは帰国することが出来た。セカンド・バッグなど使用しないこと。パスポートは必ず身につけるべし、である。

私は百回以上、日本と中国を往復している。十五年以上も中国大陸に行き、やっと仕事も良い方向に向かっている。日本の農家のためにいろいろな苗を生産して、日本で花を咲かせる仕事である。海外での仕事は苦しいことの方が多いが、その中で人間との新しい「和」が出来る。悪い人ばかりではない。

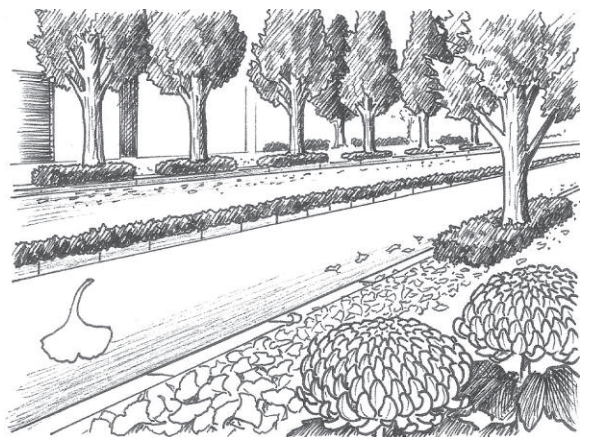
たくさんの話があるが、今回はパスポートについて書いてみた。くれぐれもご注意を。なくした場合は、まず近くのゴミ箱を見てください。それ以上に、自分のことは自分で責任を持ちましょう。

（生花業・62歳）

献眼日本一の町を訪ねて

齊藤 祥治（山梨県・竜王）

二〇〇四年十一月、神奈川県・横浜と山梨県・甲府で開催した腎・アイバンク・セミナーで、静岡県・小山ライオンズクラブ製作の「ガンバレ！　アイバンク」というビデオを使用させて頂いた。その内容にいたく感激した我々腎・アイバンク委員たちは、ぜひとも一度、小山ライオンズクラブを訪問しようということになった。

〇五年二月、我々と県アイバンク事務局長ら一行十二人は、かねての計画通り、対人口比率献眼者数日本一を誇る小山町の、献眼の火付け役となった小山ライオンズクラブ訪問を実行した。

イラスト／小川和政

当日は土曜日にもかかわらず、土屋雄司会長（当時）ほか五人の会員さんたちが温かく出迎えてくださった。東名高速・御殿場インターから車で十五分ほどの小山町は、人口約一万八千人。日本一の献眼の町とはとても信じがたいほど静かな田舎町である。私は「何が彼らをそうさせた」のかが、一番気になっていた。そしてその結論は「情熱」以外の何ものでもなかった。

小山ライオンズクラブは六五年五月、御殿場ライオンズクラブのスポンサー、会員四十四人で船出した。結成五周年を記念して、メンバーと

ライオネス全員が献眼登録し、アイバンク運動が始まった。理由は単純明快。貧乏クラブが五周年を迎えるに当たり、何か活動の柱となる事業をと考えた結果、自分たちの身体を使った奉仕が最善の道だと決定したのだ。

だが、「この田舎町で本当に献眼運動を定着させることが出来るのか」と、半信半疑の出発ではあった。会員たちは町内で人が集まるあらゆる機会を利用して、献眼の尊さや大切さを説得して回ったのである。

運動の先輩である沼津ライオンズ(クラブ)の応援を受けながら、以来三十五年間にわたり、

営々と努力精進した結果が今日の姿である。また、町内十三カ所のお寺の協力も大きな力となっている。宗派を問わず全寺院の法条さんが、日ごろから葬儀や法事の際に、眼の不自由な人たちに愛の光を与えるという行為が、いかに尊く立派なことかを説いているのである。「お寺さんが勧めるなら、きっと極楽に行けるだろう」という安心感と勇気を引き出しているのだという。

葬法が土葬だったころは、死者を傷つけるという観念が強かったが、火葬して灰になってしまう現在では、「世の中のお役に立てるなら喜んで角膜を提供する」という人が増えているという。現在は眼球を摘出し義眼を入れるのだが、近い将来には角膜だけを取り出すことも可能になるそうだ。

この町はいくつかの部落で成り立っているのだが、部落によっては亡くなった方全員が献眼する。平均すると、十人中六~七人にも及ぶ。全戸に有線放送が設置されていて、献眼すると放送されるから、しないとむしろ恥ずかしいくらいなのだという。

ここで大切なことは、平素から献眼について、家族でよく話し合っておくことである。故人の遺志を生かすも殺すも、遺された家族の行動にかかっているからである。

帰途、我が二十一年間のライオンズ活動を振り返り、穴があったら入りたいと思った。そう思ったのは私だけではあるまい。そして、日本中には常に五千人以上の目の不自由な人々が、愛の光の届く日を一日千秋の思いで待っていることを決して忘れてはならない。

（不動産貸付業　65歳）

もう一つの特攻「義烈空挺隊」

名越　かず代（熊本）

私には戦前、熊本三菱航空機製作所へ学徒や挺身隊として動員された仲間がいる。今年は戦後六十年なので、五月二十四日の義烈空挺隊の命日に献花に行こうと集まった。顕彰碑は陸上自衛隊の健軍駐屯地にある。

義烈空挺隊を知らない方も多いだろう。親友をこの隊で亡くされた増田民男さんにお会いして、詳しく伺った。

この隊はアメリカ軍が占領する沖縄の飛行場に強行着陸して、その機能を止めることを目的としていた。行けば必ず死ぬ。神風特攻隊の陰に隠れているが、大和魂だけで突っ込んだ、奥山隊長以下百三十六人の青年兵たちだ。十七歳の少年もいた。重爆撃機十二機で、

四機不時着、七機撃墜されるも、敵機九機を破壊して二日間使用不可能にさせた。アメリカ軍との兵力、武器の差がありすぎた悲しい戦果だった。

この義烈空挺隊こそは日本陸軍が最も勇ましく戦った最後の部隊であった。増田さんの友人の梶原少尉は、武人のたしなみとして香水を付け出撃の最期を飾りたいと望まれた。「待望の命下る平素の志笑って突き込む（中略）我等皇国の必勝を信じ、悠久の大儀につく一歩先に。散る桜残る桜も散る桜。香水多謝」香水を贈った友人に遺された言葉である。

団長の中村大佐の手記によると、出発前の奥山隊長と渡部副隊長は、平常と変わりなく、碁を打っていた。二十六歳と二十四歳である。この若さでこのたしなみをいつの間に身に付けたのだろうか。「死なば死ねと存ずれば何事も大事なし」との覚悟が心底にあったのだろう。奥山隊長の遺書には「大東亜戦争を解決するものは若さの力にあり、若人は公明正大快活無邪気たるべし」そして「若人の力」と血書きされていた。渡部副隊長は「かねてより祈りし時に今会いて、心の中ぞうれしかりける」と残され、「続け」と血書きされた。その五分後、出発のために席を立たれた。

簡素な乾杯の席に全員着き、宮城の方向に正対し陛下の万歳を三唱した。だれということなく、最後に歌った歌は、母校市ケ谷台の校歌だった。最後の機に乗り込む奥山隊長が、母上に遺されたのは、階級章と印鑑だった。空港の上を旋回して、最後の別れをして飛んで行った。飛び立つ時に皆が見ていった松の木は「見送りの松」として県立大学の教員たちにより、ずっと守られている。

改めて出発の時の写真を見ると、最後というよりも凱旋のようなお顔である。出発前に人生最後の酒を飲まれたが、「酒とは旨いものでありますな」とは、初めて酒を飲んだ若い兵隊の言葉である。死に行く者にお金はいらないと国防献金をされたり、死ぬのは自分たちだけでいいと、もらった人形を、送り返した者もいたそうだ。笑顔で飛び立った隊員の心境を思うと、何と表現していいのか、心が痛むし、愛国精神のあった当時の日本人を思い出す。教育の残酷さ、戦争の悲惨さを後世に伝えていかねばならないと痛感した。今の幸せな生活は、国のため、愛する者のために命をささげた隊員の犠牲の上に成り立って

いる。皆さん、お酒を飲まれる時、どうかかの若い隊員の言葉を思い出して頂きたい。

（会社役員・78歳）

すがすがしい思いの献血奉仕

正木　猛司（大阪府・八尾中央）

六月十八日、朝十時。

「おはようございます」。献血委員ら関係者が集まり、献血運動開始。「うぐいすライオン」も応援に来て頂いた。

「献血にご協力お願いします」とあっちこっちで声を掛け、ティッシュを配った。女性クラブの皆さんは、とても誘うのが上手い。一方、男性はあまり上手とは言えない。私も

「献血やってんねん。よかったら頼んます」と二人組の男の子に声を掛けるが、

「献血かぁ。何やダサいなあ。嫌やなあ」と顔を見合わせる。

「そんなこと言わんと、まぁ頼むわ」

「どうする？　いっぺん行こか」

「時間あるんやったら行ったって」と案内した。一人の子は睡眠不足でダメだったが、もう一人は献血してもらうことが出来た。ティッシュを渡し、

「良かったなぁ。気持ちええやろ。今度は九月やでー。また頼むわな。おおきに」と見送った。

次に女の子にも同じように声を掛けると、

「おっちゃん、いつも来るねんけどな、何かが足らんって言われて、いつも断られるねん」と言う。

「何かって何？　頭の中と違うやろ？　冗談、冗談。赤血球が足らんのか？」

次期幹事のライオン藪中もやって来た。

「ほんだら、ホウレンソウ食べや。生レバーもええで。牛乳も飲みやー」

「おっちゃん、それ全部やってんねん」

「ほんまかいなー。ほんだら大丈夫や。今日もう一回やってみ？　きっとOKやで」と促し、心の中で神様、仏様、イエス様にどうか良い結果が出るように祈った。

「おっちゃん、OKやった」と、献血を済ませて女の子が嬉しそうに出てきた。

「そうか、良かったなあ」

「次は九月やで。次来てくれたらTシャツやで。今はやりのTシャツやから、ほかにもだれか連れて来てやー」と言う次期委員長のライオン大西に、

「分かった。ほんまに、ええTシャツやな？」と、ニコニコしながら帰っていった。

献血が出来る幸せな人でも、なぜか男の子より女の子の方が、最近は明るい子が多いように感じる。男の子は「男はだまって○○ビール」のコマーシャルのように、笑いもせずに恐い顔をして献血バスに入っていく。

とはいえ、日本も少子化が進んでいるのは確かだが、我々団塊の世代の子どもたちよりも若い、二十歳前後の若者も、捨てたもんじゃないなあ、とつくづく思った。帰路についた車の中では一人、得意の演歌を歌った。晩飯の時は、晩酌をいつもより多めに飲んだ。すがすがしい思いの一日だった。

「あぁ疲れた。寝るでー。オヤスミ」。

（建設業・59歳）

俳壇

■選者 森　澄雄

【特選】

河口まで灯の連珠なす流灯会　（兵庫県・西脇）高瀬　博子

（評）流灯会は盆の十六日に灯籠に火をつけて川に流す。河口まで火を灯した流灯が美しい玉をつらねたように流れてゆく。

灯明にゆらめき絵金宵祭　（香川県・丸亀京極）和家　誠治

（評）宵祭は本祭前夜に行う祭、宵宮。絵金（一八一二～七六年）は江戸末期から明治初期の町絵師で本名弘瀬金蔵、絵金は俗称。江戸で狩野派を学び、土佐に帰って芝居絵に怪奇的な画風を展開。宵祭に絵金の絵が灯明にゆらめくように見える。

（応募要領→57ページ）

【入選】▼

すすき野の癒すパソコン疲れの目　（青森県・五戸）吉田　晶二

恙なく夕鯛の声に暮れ　（千葉県・大栄）野平婦基子

禅坊へひとすじの径合歓の花　（千葉県・船橋シニア）紺谷　宗男

神妙に雨月の膳に控へをり　（千葉県・流山）皆川　春安

険路なる城の近道木の実降る　（愛知県・南知多）内田二三子

稲架かくるなれし手付の老夫婦　（愛知県・高浜）岩月　三則

老僧の一人しづかに落葉掃く　（岐阜県・大垣東）大橋庄一郎

木漏れ日にささやかなる風蝉時雨　（静岡県・三ケ日）足立　貞男

藤村のゆかりの宿の朴散華　（兵庫県・神戸シニア）中村麦芽子

紺碧の摩周湖に来て天高し　（大阪プラム）竹田　房子

逝く友に惜別の刻（とき）蝉しぐれ　（大阪夕陽丘）中村　豊彦

立山の闇をはるかに星月夜　（大阪府・堺浜寺）宮部志都子

川風の桟敷ひろらに滝見茶屋　（大阪府・堺浜寺）仲西　健豊

露涼し空海眠る奥の院　（京都醍醐）國松倭都子

秋高し聳ゆるポプラやしなふ　（長崎北）平山　兼則

歌壇

■選者　春日真木子

【特選】

季移る時間を告げてゆくやうにドミノ倒しの草はらの風

（青森まほろば）加藤　捷三

（評）夏の終わりから秋への季の移りを詠みとめる一首。草は荒草、夏の間に伸び、丈高く茂った草原に、新涼を思わせる風が吹く。草の下陰は、まだ残暑の濁りをふくんでいることだろう。その草を「ドミノ倒し」に風筋が過ぎてゆく。「ドミノ倒し」という言葉によって、草原の傾りの移るさまが見えてくる。一見、平凡な素材を詠んでも、表現がきまれば、詩的な雰囲気が生まれてくることを示す一首でもある。

今号は、岩間、松本作品にも注目した。

（応募要領→57ページ）

【入選】▼

送り火の煙のにほひ甚平にしみて母の忌遠くなりたり

（青森県・弘前）岩間　甫

夕立のはげしく去りてこの夏の集大成とぞ光るひまはり

（青森県・弘前チェリー）高橋　修一

思い出の探し求めし米農家　買出しの頃の情語り合う

（岩手県・藤沢岩手）藤沢　誠

雷の遠き音きき暫くは打ち水の手が夕立を待つ

（千葉県・館山中央）荻野　貴子

「玉音」が聴きとれなくて九才の瞳に残る空の青さよ

（埼玉県・鷲宮）芦谷　洋司

ふるさとの野にはびこれるスベリヒユ食糧難時代は隈なく採りにき

（石川県・羽咋）竹津　弘子

水清き穴吹川を手作りの筏にて下るしぶき浴びつつ

（徳島県・鴨島）乾　忠義

シャッターを下ろし見上げる盆の月帰省の孫へ逢いに急げり

（高知県・土佐香南）野村　禎子

梅檀の幹にすがりてたまゆらを一心不乱に蝉が尻降る

（大分県・中津沖代）松本　達雄

杉材の安値を嘆く山師いて風倒木の投売りを識る

（宮崎県・日向）田崎　登保

柳壇

■選者　大木俊秀

【特選】

少年のひと日に還るハーモニカ　（青森県・弘前中央）高橋　敬

（評）「ハーモニカ」と「少年」の取り合わせで詠まれた句は、決して珍しくはないのですが、「ひと日に還る」が非凡です。他人の吹いているハーモニカを聴いての感懐というよりは、やはり自分で久しぶりに口にするハーモニカと解釈するのが妥当でしょう。曲は何？

ゼロメーター地帯アメリカにもあった　（千葉県・東庄）大須賀光幸

（評）「カトリーナ」などという優しい名前をもらいながら、猛威をふるったものすごいハリケーン。さすがのブッシュさんもたじたじでした。それにつけても、「へえ、アメリカにも海抜ゼロメートル地帯って、あったんだ」は、まさに私たちの実感。

（応募要領→57ページ）

【入選】

選挙カー背中で聞いて庭を掃く　（北海道・釧路まりも）岸本　照之

決断へ進む勇気をくれた数珠　（青森県・五所川原）坂本　憲昭

火傷せぬ距離を保っている卑怯　（青森県・八戸中央）大久保健峰

晩学の昨日覚えて今日忘れ　（岩手県・藤沢岩手）及川　平一

咲く花火天国からも見えますか　（岩手県・水沢中央）石川　涼呼

年老いて具わってくる協和音　（岩手県・水沢中央）佐藤加代子

久々の観劇熱く涙する　（岩手県・水沢中央）山下　知彦

一生を現役ですと錆びた釘　（新潟県・見附）宇之津滋朗

刺客でもいいわ欲しいのあのバッジ　（千葉県・船橋シニア）小嶋　廣次

旅をして人の情けを手みやげに　（千葉県・船橋シニア）灘山　徳治

町が市になっても元のライオンズ　（兵庫県・太子）首藤　迪

芽を出して自己主張するこぼれ種　（大阪中部）竹田　東六

老いて尚しっかり石橋を叩く　（京都鴨川）栩谷　四朗

ケータイで捜し出された雲隠れ　（鳥取県・倉吉打吹）森脇　涼生

背伸びしてはしゃぐピエロの転び癖　（長崎県・佐世保西）神谷　治雄

伝言板

■JVC国際協力カレンダー

日本のNGOの草分け、日本国際ボランティアセンター（JVC）が、国際協力カレンダー『モンスーン　アジア』（千五百円）を販売しています。モンスーンをテーマにした、十二カ国の情景写真が美しいカレンダーです。収益はアジアの子どもたちの食・健康・教育の教育活動に使われます。申し込み、問い合わせはJVCの担当・荻野さんまでお願いします。
TEL：〇三・三八三四・二三八八
Eメール：ogino@ngo-jvc.net
URL：www.ngo-jvc.net

■モンゴル国大使の著書紹介

B6判　本文311ページ
1,600円

二〇〇一年に駐日モンゴル国大使となったザンバ・バトルジャルガル氏。330複合地区モンゴル支援委員会とも親交があります。同氏による『日本人のように不作法なモンゴル人』が出版されました。メディアや伝聞による情報しか持たなかった日本に来て日本人に接した印象、モンゴル人に対する新たな発見などが綴られています。

クラブ会員刊行物

●句集　春夏秋冬

26.5×25?　本文93ページ
非売品

著者／原文成（愛知県・豊橋西ライオンズクラブ）発行／?東愛知新聞社（TEL〇五三二・三三・三一二二）
喜寿を迎え、人生の里程標として、十年間、日記代わりに書き留めた句を、春夏秋冬の季節の移ろいごとに並べた。

●東上州三十三観音札所めぐり

著者／樋口正洋（群馬県・太田中央ライオンズクラブ）発行／上毛新聞社出版局（TEL〇二七・二五四・九九六六）
江戸中期に創設された東上州三十三観音霊場を訪ね、全寺院が現存し、ご朱印がそろうことを調査・確認。案内書にまとめた。

A5判　本文82ページ非
1,200円

●「ボツ」か採用か　新聞投稿

著者／福本護（鳥取県・米子グレートサウス・ライオンズクラブ）発行／?????（TEL〇八五九・二二・五一五八）
「日々、これ投稿」と、新聞の読者投稿欄に投稿し、この六年間の採用原稿を一冊にまとめた。

B6判　本文162ページ
非売品

ライオン誌事務所来訪者芳名録

月	日	クラブ	氏名
8	4	福岡	上原　晃
8	22	東京三軒茶屋	藤村　貞夫
8	22	東京恵比寿	荘　英隆
8	22	神奈川県横浜金港	小柴　登司
8	22	埼玉県大宮氷川	深見　秀雄
8	22	福島県郡山開成	蔭山　健一
8	22	新潟八千代	岳　哲夫
8	22	栃木県宇都宮二荒	齋藤　正光
8	22	千葉	岡野　正義
8	22	千葉県野田	吉岡　稔隆
8	22	千葉県流山	長谷川健登
8	22	千葉県浦安中央	杉山　民生
8	22	千葉県松戸ユーカリ	高橋　昌男
8	22	千葉県松戸ユーカリ	福澤　良夫
8	22	千葉県成田	大野　卓正
8	22	群馬県吾妻	劔持　貞
8	22	兵庫県神戸一の谷	辰巳　博昭
8	22	兵庫県神戸レインボー	団　英男
9	7	茨城県日立中央	鈴木　正二
9	7	東京紀尾井町	渡辺　豊隆
9	13	東京	木場　芳紀
9	13	東京	池崎　道男
9	13	東京町田クレイン	金子　安男
9	13	千葉県浦安中央	杉山　民生
9	13	千葉県野田	吉岡　稔隆
9	13	千葉県松戸ユーカリ	高橋　昌男
9	13	千葉県松戸ユーカリ	福澤　良夫
9	15	東京麻布	戸田　一郎
9	15	宮城県名取	松浦　斉
9	15	福島	熊坂　英二
9	15	新潟県長岡柏	小池　誠毅
9	15	香川県三木さぬき	石川　俊夫
9	15	鹿児島県大口菱刈	水間　良信
9	15	千葉	椎名　益男
9	22	千葉県四街道	楠岡　巖
9	22	岩手県藤沢岩手	高橋義太郎
9	27	東京愛宕山	中雄　政幸

読者から

▼本誌へのご意見・ご感想をお寄せください。編集部

心からの拍手を

●九月号「クラブ・リポート」、岡山西ライオンズクラブの一年間全例会出席一〇〇?達成を読み、たいへん感動致しました。私たちのクラブでは精いっぱい努力して年一回の一〇〇?例会を行っています。全例会とは頭の下がる思いです。

三重県・津西・事務局●古市信子

次は我々ががんばる番

●九月号「ヘッドライン」、釧路湿原ライオンズクラブのクラブ復活へのプロジェクトXには、力づけられました。当クラブも四十二人から十二人へと会員減少。昨年一年間、クラブ会長として何も出来なかった自分を反省しました。九月の納涼例会の時に、皆にこの記事を紹介し、今期会長や役員たちと力を合わせ、多くの新会員を迎えられるよう努力したいと思っています。

兵庫県・加古川西●廣瀬悟

感謝の気持ちでウィ・サーブ

●八月二十九日、330・A地区主催のLCIF・CSFⅡセミナーに参加した。この基金は、ライオンズが世界最大の奉仕団体たるバックボーンである。これを通じて、世界の発展途上国の人々に対し、援助・貢献出来る。日本へは献金額と比較して交付金が少ないという声もあるが、千?の献金で一年間暮らせる国もあるのだ。自分たちの恵まれた生活や健康、そして献金出来る喜びをもらっていることに感謝したい。CSFⅡは世界中のライオンズ・メンバーの指針であり、ヘレン・ケラー女史との約束を守ることにもなると思う。

東京太陽●北村昭子

「ふるさと探訪」を読んで

●実は十一年前、北海道で交通事故を起こし、瀕死の重症を負いました。地元の皆様の親切で九死に一生を得て、二カ月後に山形へ帰りました。以来牛乳は道産専門。今回、深川ライオンズクラブの記事を思い入れ深く拝見しました。

山形霞城●斎藤幸一

ライオン誌投稿要領

カラー

■「MY BEST SHOT」62㌻
●応募資格：会員（ライオン、ライオネス、レオ）及びその家族でアマチュア。
●応募作品（題材は自由）プリント（サービス判～キャビネ判）、スライド（35㍉以上）、データ（長辺1600ピクセル程度／JPEG最高画質）。一人5点まで。
●プリントは写真の裏に紙を貼り、スライドには必ずマウントをつけ、データはメールの添付書類で本文に、氏名、クラブ名、年齢、題名、撮影場所、撮影年月日、住所、電話番号を明記。返却希望の場合は、住所、氏名を記入した返信用封筒に切手を貼り同封。締切：毎月15日。

■「ライオンズ・ギャラリー」63㌻
●会員及びその家族。プロ、アマ不問。
●応募作品：絵画、版画、工芸／題材は自由。作品のスライド・フィルムか、カラー・プリント（キャビネ判）。氏名、クラブ名、年齢、職種、作品のサイズ、題名を明記し、作品に関するエッセー、自評など（400字程度）、顔写真を添付。

■「こころのチキンスープ・ライオンズ編」60～61㌻
●応募資格：会員（ライオン、ライオネス、レオ）やそのご家族、クラブ事務局員など。
●ライオンズにまつわる感動的なエピソードの概略、あるいは1,200～2,000字程度の原稿。ストーリーは本誌ライターが書き下ろします。

本文

■「クラブ・リポート」22～26㌻
●ライオンズ、ライオネス、レオクラブ。
●アクティビティ、例会など、クラブの活動を具体的に800字程度で。新聞記事は新聞名、掲載日を付記。関連写真があれば添付（返却希望の場合はその旨を明記）。

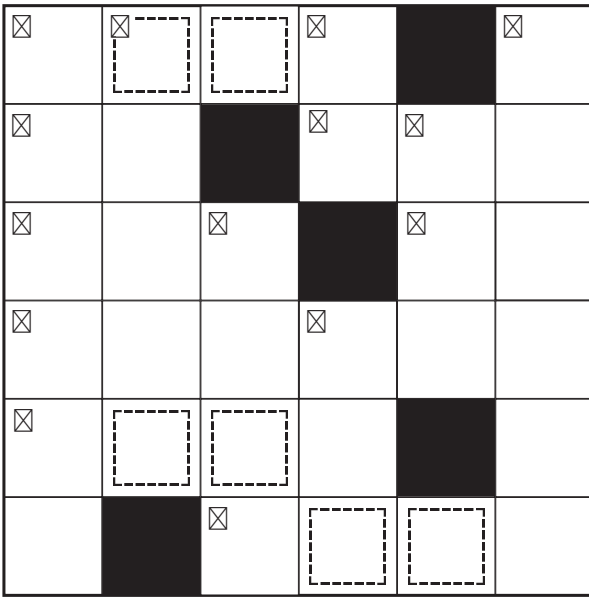
■「獅子吼」48～52㌻
●会員及びその家族によるエッセー、提言など。1,600字程度。職種、年齢を明記。
●題字はハガキ程度の大きさ。

■「俳壇」「歌壇」「柳壇」53～55㌻
●会員及びその家族。
●一人ハガキ1枚に3句／首まで。締切：毎月15日。

■「リーダース・プラザ」56～57㌻
●クラブ会員刊行物：クラブ並びに会員が刊行された出版物を1部送付。
●伝言板：読者間の情報交換に。
●読者から：本誌への意見、感想など。

▼締切の記入のないコラムは随時受付。誌面の都合で編集したり、掲載出来ない場合あり。原則として原稿返却はなし。
▼住所、氏名、クラブ名を明記。文字原稿及びサービス・アクティビティはEメール投稿も可。

送り先：〒104-0045東京都中央区築地2-2-1　築地細田ビル7階　ライオン誌事務所（各コラムあてにお願いします）
ファクス：03-3546-2630
Eメール：edit@thelion.jp

クロスワードパズル

点線に入る文字をヒントを基に並べかえてください。正解者の中から十人の方に記念品を差し上げます。ハガキに答えと氏名、クラブ名、住所、電話番号、本誌の感想を書いてご応募ください（あて先は66ページ）。締切は二〇〇五年十一月二十日。

☒	☒ [ ]	[ ]	☒	■	☒
☒		■	☒	☒	
☒		☒	■	☒	
☒			☒		
☒	[ ]	[ ]		■	
	■	☒	[ ]	[ ]	

解答 | | | | | | |

ヒント：国際役員です。

↓タテのカギ

☒今回のフォーラム開催都市紹介の枕詞。
☒全米証券業協会が運営する店頭株市場。
☒全国各地に芭蕉のこれがあります。
☒江戸版では「犬も歩けば棒に当たる」。
☒「五輪書」著者の名前。
☒お澄まししてのぞき込む。
☒西インド諸島イスパニョーラ島にある共和国。首都ポルトープランスなどに四つのライオンズクラブがある。
☒野外でお茶を立てて楽しむ。
☒社会主義、共産主義の党派。
☒風疹。
☒サリドマイド、スモン、エイズほか多くの問題が。
☒路傍。

←ヨコのカギ

☒十年以上在籍した会員が付けられる◯◯◯◯・シェブロン。
☒漢字で書くと栗鼠。
☒夏まで氷を貯蔵します。

■前回の答え

サ	ラ	ブ	[レ]	ツ	ド
サ	[イ]	ジ	ツ	■	ウ
カ	バ	■	ト	ウ	[イ]
マ	ル	ボ	ウ	ズ	■
ボ	■	■	[カ]	マ	ド
コ	ウ	ネ	ン	キ	■

答えは「レイカイ」

第5回

最後の結婚記念日

ワイン人生三十年あまり、夫婦共々たくさんの方々との出会いからいろいろな楽しみ方を教えて頂いた。毎年行ってきた結婚記念日も、この日は三十二周年。親しい人たちとのパーティーは、ワインの量や種類、そして会話が離れないようにと考えると、八人程度が理想である。虎ノ門のレストランでのパーティーとなった。

メーンの一九五九年ロマネ・コンティが開けられると、いつも期待を裏切らない最高の気品が、パーティーの華やかさを盛り上げてくれる。ふと、夫の方に目をやった。グラスから口に含み、ゆっくり飲み込む。こぼれるような笑顔。はにかんだような眼差し。その瞬間を逃さず、カメラのシャッターを押したのだった。

その日から一週間後、夫は老夫婦をかばっての自転車事故でこの世を去った。痛み止めは体に悪いのではないかと言いつつ、死の瞬間まで生きようとしたが、私の腕の中で静かに息を引き取ってしまった。

「ここにある茶碗も、箸も、もういらないのね」。

イラスト：吉田悦子

気が狂わんばかりの悲しみで、涙の止まらない毎日。その後しばらくはどう生きてきたのか、あまり覚えていない。私たち夫婦とワインとを出合わせてくれた下野ソムリエのサービスが、最後の結婚記念日を飾ることになろうとは。

それから三年。この十月十七日、供養を兼ねて最後の結婚記念日を再現し、三十五周年を祝うこととなった。あの日を共に過ごした大切な方々の一人、ピーター・ツーストラップ氏も、フランスから駆け付けてくれる。こんなうれしい計画が自分らしさを取り戻すきっかけとなった。

夫の誕生日も、彼を慕う可愛い姪たちと祝ってきた。夫は今、どこにいるのだろう。姿は見えないが、きっとどこかで生きている、と思えるようになってきた。ワインを口にするたびに、彼が話しかけてくる声が聞こえ、うれしさに涙がこみ上げてくる。愛される幸せはなくなった。しかし愛する喜びは持ち続けられる。彼を二度も死なせないために……。そして思う。古賀守先生がおっしゃった三つのワイン、「和飲・輪飲・話飲」。この言葉を大切に、私を支えてくれた方々とワインに感謝し、これからも夫と共に生きていきたい。

ワインが幸せを与えてくれることを信じて。

■植村力子（千葉県・柏なの花ライオンズクラブ）

こころのチキンスープ●ライオンズ編

息子よライオンズの仲間に

構成／青山研

子どもたちには、黄金よりはむしろ良心という立派な遺産を残すべきである。

――プラトン――

あの忘れられない災害の日から十五年になります。あの災害から見事に立ち直ったライオンズの仲間を見送ってから、早いものでそろそろ一年です。あ、私ですか。私は、長崎県の島原半島東部の布津町に住んでいまして、深江布津ライオンズクラブのメンバーです。有明海に臨んだ良い土地です。

一九九〇年十一月十七日の未明のことでした。雲仙普賢岳から突然一筋の煙が立ちのぼりました。有明海に一本釣りに出ていた漁師が第一発見者でした。平成の「島原大変」の始まりです。噴火活動は日ごとに激しくなり、翌年六月三日午後四時過ぎにはものすごい火砕流が起こり、土石流が発生して、水無川の周辺の住居は瞬く間に土石に埋まってしまいました。

ライオン上田一利の家も無残な姿になってしまいました。彼は、結婚と同時に家を建てた方で、お子さんが生まれるたびに建て増しして、コの字形に二階建ての一棟も増築したんですが、その家を、土石流が襲ったんです。もう一瞬のうちに一階部分はすっぽり土石に埋まり、やっと二階の窓から出入り出来るという状態です。ライオン上田、三十七歳の年の災厄でした。

一家は四年後に、島原から深江町に引越しました。彼は、一流損害保険会社の代理店を経営していましてね、富美子夫人は大きな病院のベテラン看護師でした。お二人で働きながら、再び新しい家を建てたんですよ。生涯に二度家を建てるなんて、めったにないことです。そのころですよ。新しい友人の勧めで私たちの深江布津ライオンズクラブに彼が入会してきたのは。明るい人でね、賑やかなのが大好きでしたね。そのころは、保険の仕事も順調に伸びていたようです。成績の優れた人だけが招待される東京本社の表彰式の常連さんになったのも、それから間もなくでしたね。順風満帆を絵に描いたような日々だったでしょう。

ところが、好事魔多しとか、ある日、胃に痛みが走りました。「十三年前と同じだ」と思ったそ

イラスト／吉田悦子

うです。

十三年前、(ライオン)上田は胃がんの手術をしていました。すぐ大学病院に入院して、残りの三分の一の胃を切ったんですね。手術も順調で、術後も良かったものですから、彼は安心したんでしょうか、「もう良し」と思って賑やかにやり始めたところを再度病魔が襲います。突然呼吸困難になり、動悸が激しく、胸痛が起こり、ただごとではない予感がしました。二〇〇〇年一月のことでした。肺梗塞との診断でした。肺組織に壊死が生じるのです。三カ月間、水一滴も飲めない闘病生活が続きました。

彼は耐え、四月に退院しました。それからは、何か特別に周りを賑やかにしているように見えました。延ばしていた長男の結婚式を挙げ、好きなビールは好きなだけ飲み、好きな有明海の小魚も好きなだけ食べて、ハワイに飛んでは小型飛行機の操縦を好きなだけやって、シンガポールでのOSEALフォーラムでは、自然動物園並みのゴルフ場でイグアナの木登りに笑い転げていました。二〇〇二年にはクラブ幹事に選ばれて名幹事振りを発揮しました。今思えば、傍目にも生き急いでいる感じの二年間だったようです。

幹事役が終わった年の暮れのことでした。

「(ライオン)上田が再入院したそうだ」

という報せが走りました。見舞いましたら、いつものように明るい(ライオン)上田でした。愚痴らず、奥さんに優しく、子に笑いかけ、会社の経営に最後まで細やかに気遣い、二十八歳になるご長男には繰り返し、繰り返し、こう言っていました。

「もしものことがあったら、代わりにライオンズクラブに入って、地域のために奉仕してくれ。ライオンズのメンバーは、地域の名士ばかりだ。皆さんの仲間に加わることがお前の務めだ。分かったな。頼むよ」

「奉仕の心を継げよ」の思いを遺して、(ライオン)上田は五十一年のあまりにも短い生涯を閉じました。

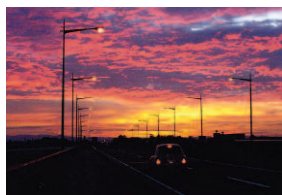
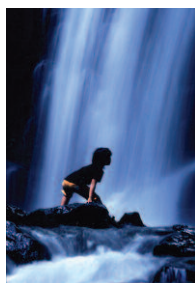
忌明けとなって、彼の会社は富美子夫人が引き継いで社長になり、クラブには夫人が入会なさいました。(ライオン)上田に負けぬ気配りの人で、名幹事が女性ライオンになって甦り、クラブも華やぎました。ご長男は、会社勤めを辞めて、父の跡を継ぐべく目下修業中ですから、彼の遺言が実現する日も間近でしょう。

父は子の天なり、と言います。ご長男の入会の日も近いと思います。

選：河相正名（日本写真家協会会員）

大松美代子
福岡ノーマライゼーション
［香港］

●選評
不気味に林立するビル群、手前には黒いボートが水面の白い反射を避けるように浮かび、これから何かが起こりそうな不穏で、異様な雰囲気となっている。 現実味を通り越したＳＦのような異次元の雰囲気が漂う。色数を抑えたのが成功している。タイトルに感情移入がなされると作者の意図が明瞭になった。

優秀作

高橋秀通　愛知県東浦
［大橋の朝焼け］

山田隆　群馬県境
［滝に誘われて］

木村文丸　青森県弘前
［水田のアート］

安藤正一　愛知県豊田
［街角で］

横内孟　山梨県南アルプス［早春の燧ヶ岳］
畔柳東一　愛知県岡崎竜城［黎明］
鳥羽孝哉　長野県松本アルプス［春雨］
徳田修　大阪難波［奈良春日大社万灯祭］
菊野善之助　愛媛県松山［仲間たち］
田尾忠士　愛媛県新居浜ひうち［一杯いかが？］
重藤一美　広島県甲山［打上花火］
上野春夫　広島県三原［花火］

全作品は国際協会公式ウェブサイトでご覧頂けます。　http://www.lionsclubs.org/JA/TheLion/MBS/index.html

LIONS GALLERY

［懐かしき友］油絵　F30号

昭和五十八年の三月、私たちは中国へ行く機会があった。当時は一般の中国人には手の届かない高級ホテルの宿泊や、列車で特別座席を利用出来るなどの優遇があって、数日の観光を楽しむことが出来た。

上海を中心に、無錫（むしゃく）や寒山寺のある蘇州周辺を巡り、近代化に進む中国人民の巨大なパワーに圧倒されてしまった。パンダ見学や珍料理に舌鼓（?）を打った毎日が懐かしい。

帰国前日に上海展覧館前で撮った記念写真が、最近見つかって、つたない絵でも描く気になった。

左端の私から右へ故（ライオン）亀井、故（ライオン）岩橋、元（ライオン）森（撮影者）、故（ライオン）日野林のつもりであるが、彼らは皆それぞれの要職を務めた奉仕の仲間たちであった。

語り尽くせぬ彼らとの思い出は、この懐かしい写真と重なり合って、二十年余りの風化から鮮明に蘇っている。

（ますだ　としお・78歳）

増田都司夫
和歌山伏虎ライオンズクラブ
衣料品販売

「人生で直面する困難にどのように対処すればよいか、だれも教えてくれなかった」

今の日本の中学生が学びたいと考えていること——それは、まわりの人と仲よく付き合う力、そして自分の考えを言葉で伝える力です（文部科学省「義務教育に関する意識調査」2005年6月）

ライオンズ - クエストは、それにこたえます。

ライオンズ - クエスト･プログラムはコミュニケーションや感情のコントロールなど、青少年が日々経験する困難を建設的に解決し、よりよく生きる力を学ぶ、教育プログラムです。日本では約1,000人にのぼる教育関係者が研修を受け、約30の小・中学校で実施されています。

●ライオンズ - クエスト･セミナー開催予定●

10月27日（木）京都：335-C地区青少年指導・ライオンズ - クエスト委員会主催
11月21日（月）東京：330-A地区青少年レオ育成・ライオンズ - クエスト推進委員会主催
11月29日（火）富山：334-D地区青少年指導委員会主催
11月30日（水）金沢：334-D地区青少年指導委員会主催

読者プレゼント

■完熟イチゴを五人の読者に

「ふるさと探訪」(36ページ)に登場した千葉県・松戸ユーカリ・ライオンズクラブから、高橋農園(ライオン高橋昌男)の完熟イチゴが五人の読者にプレゼントされます。

高橋農園のイチゴは、ミツバチを放して受粉させた果実を真っ赤に熟させてから摘み取ります。熟れたイチゴが傷まないように、果実をかたどったパックに入れて出荷します。驚くほど甘い超高級品です。

写真はイメージです

■白玉粉を五人の読者に

「ふるさと探訪」に登場した川光物産(ライオン飯塚平八郎)の玉三白玉粉が各五人の読者にプレゼントされます。

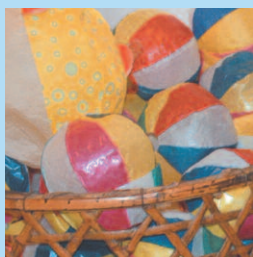
川光物産の玉三白玉粉は、厳選された材料を使い、もち米を一晩水に浸してから水と一緒にすりつぶす、独特の水挽き製法。お餅よりも消化がよく、滑らかかつこしのある白玉が出来ます。伝統ある自然の味覚をお楽しみください。

写真はイメージです

EDITOR'S ROOM

■「歴史の舞台」風祭竜二氏の色紙と出雲崎のかみふうせんを三人の読者に

「歴史の舞台」シリーズの切画家、風祭竜二氏から今月号掲載の良寛さんの切画の色紙が、新潟県・出雲崎ライオンズクラブからは手作りのかみふうせんがプレゼントされます。色紙とかみふうせんをセットにして、三人の読者にプレゼント。

風祭氏の切画は色紙を巧みに用いて微妙な陰影を表現しています。今回のプレゼントは、掲載作品の写真プリントを色紙に仕立てたものです。

出雲崎のかみふうせんは伝統的な民芸品で、全国シェア九〇%を占めています。かつては冬期の内職として作られていました。今も一枚一枚のパーツを手でていねいに張り合わせています。最近はフグの形を模したものなどバラエティー豊かで、海外へのお土産としても人気があります。良寛さんのように童心に帰って、お子さんやお孫さんと一緒にかみふうせんで遊んでみませんか?

プレゼント応募要項

はがきに郵便番号、住所、氏名、電話番号、クラブ名と「イチゴ」「白玉」「かみふうせん」「色紙」とご希望の品を明記し、下記のあて先へ。本誌へのご意見、ご感想もお書き添えください。締切は11月末日。応募多数の場合は抽選となります。当選のお知らせはプレゼントの発送をもって代えさせて頂きます。

ライオン誌日本語版事務所
〒104-0045
東京都中央区築地2-2-1 築地細田ビル7階

ウェブサイトからの応募

www.lionsclubs.org/JA/content/thelion_prese

次号予告

THEME

明日のライオンズを考える

仙台フォーラムで開催されたライオン誌日本語版委員会主催のミニ・フォーラム「明日のライオンズを考える」。ライオンズが停滞傾向を脱して飛躍するために、今、何が求められているのかを問う。

ライオンズクラブ統計

二〇〇四・〇五年度ライオンズクラブの世界の国別クラブ数、会員数。東洋東南アジア及び主要十カ国の情勢。日本ライオンズの年度内会員数の推移、アクティビティの地区別項目別比較などを表とグラフで示す。

ROAR・ローア
——まるごと334複合地区

十二月号は334複合地区特集。「ヘッドライン」は、愛知県・南知多、長野県・下諏訪ライオンズクラブの提携による、産直イワシの無料配布。「ふるさと探訪」は愛知県・幸田町。のどかな田園風景が広がる一方、町内には企業の工場も多い。幸田町の特産は筆柿。全国でも幸田町を中心とした地域だけで産する品種で、他品種に先駆けて九月下旬から出荷が始まる。通称・筆柿団地と呼ばれる長峰地区で収穫の模様を取材。ほかに深溝松平家が菩提寺とした古刹、本光寺も訪ねる。

Official publication of Lions Clubs International.

We Serve

Published by authority of the Board of Directors in 22 languages - English, Spanish, Japanese, French, Swedish, Italian, German, Finnish, Flemish-French, Korean, Portuguese, Dutch, Danish, Chinese, Norwegian, Icelandic, Turkish, Greek, Hindi, Polish, Indnesian and Thai.

Lions Clubs International Headquarters
300 W 22ND STREET OAK BROOK IL 60523-8842 USA
TEL.(630)571-5466 FAX.(630)571-8890
Web site: www.lionsclubs.org

ライオン誌日本語版委員会
国際理事　石橋幹雄・伏見龍・山田實紘
委員長　荒川隆志(331)
編集長　中田勝昭(335)
委員　中島洋吉(330)・菊池清二(332)
笹本瞭(333)・砂田繁雄(334)
尾﨑明雄(336)・佐々木智英(337)

ライオン誌日本語版事務所
〒104-004東京都中央区築地2-2-1 築地細田ビル7階
TEL.(03)3542-9571(代) FAX.(03)3546-2630
E-mail. edit@thelion.jp

編集室

「三つの命」

ライオン誌
日本語版編集委員
◉
佐々木智英

ライオンズクラブに入会し、一枚の名刺を交わし、出会いが始まったことにより、その人の人生が大きく変わる。

まず、①時間を守る、遅刻しなくなる。②会合には必ず出席するようになる。③服装をきちんとするようになる。④笑顔で人のために尽くす。⑤事業を成功に導くなど、人間的に非常に成長出来る。そして、胸に掲げたL字の誇り……。

人間には宿命と運命と寿命の「三つの命」がある。

まず宿命とは、自分でどうすることも出来ないものである。

例えば、親を選ぶことが出来ない。自分は男として、女として、日本の国のどこそこの家の長男、または二女として生まれた——これは変えることが出来ない。宿命である。

次の運命は人によっては宿命と一緒に考え、他から与えられるもの、定まったもののように思っている人も多いようであるが、文字を分析してみると、そうではないことが理解出来る。

運とは軍（いくさ）をし、戦いをして、車に載せて運ぶものを言うのである。

具体的に言うと、人と人とが出会い、話し合い、心を通わせ合う。そして、良いところを学び取り、切磋琢磨して、努力に努力を重ねて、戦い取って、人生航路の上に載せて自分が運ぶものである。決して他から与えられるものではない。

寿命もまた同じことで、アルコール類を夜遅くまで、二次会、三次会と一週間に八回も飲み歩くようなことをしていれば、せっかく与えられた寿命を自分から縮めてしまうことになる。

一病息災と言って、自分の体に悪い所があれば、無理をせず、大事に大事にするので、かえって長生きしている人もいる。

寿命は摂生すれば延ばすことが出来、逆に、不摂生をすれば、縮めることも出来るのである。

現在、盛んに食育のことが言われている。食生活が多様化、飽食化し、食べたいものは何でも揃うようになり、かえって栄養の偏りや生活習慣病の増加など、さまざまな問題を抱えることになった。

人生八十年と言われている昨今、大いに摂生して天寿まで生き、奉仕活動に精進したいものである。

ちなみに、八十八歳米寿、九十九歳白寿、百十一歳王寿、そして百二十歳が天寿である。

ライオン誌十一月号

昭和三十三年十二月十九日付第三種郵便物認可　定価百八十円　送料実費七十六円
二〇〇五年（平成十七年）十月二十日発行　毎月一回二十日発行　第四十八巻第五号

発行所　ライオンズクラブ国際協会ライオン誌日本語版事務所　〒一〇四-〇〇四五　東京都中央区築地二-二-一　築地細田ビル七階　Tel（〇三）三五四二-九五七一

印刷所　凸版印刷株式会社